

# RDD-044D/084D/164D 取扱説明書

V1.2



**RDD-044D(4チャンネル)/084D(8チャンネル)/164D(16チャンネル)**

**960Hリアルタイム録画機**

## 安全上の注意

使用者の安全を保護し、財産上の損害などを防ぐためのものです。

必ず読んで正しく使用してください。

- ◆ 機器の内部に高電圧の部分がありますので、任意で蓋を開けないようにして、絶対に分解修理、改造をしないでください。
- ◆ 電源コンセントに複数の製品を同時に接続して使用しないでください。異常発熱や火災の危険があります。
- ◆ 電源コンセントに複数の製品を同時に接続して使用しないでください。異常発熱や火災の危険があります。
- ◆ 製品を平らな場所に設置して、周辺のもので製品側面の通気孔をふさがないようにご注意ください。
- ◆ 湿気、ほこりやすすの多い場所には設置しないでください。感電、火災の原因となります。
- ◆ 電源コードを無理に曲げたり、重い物で押して破損させないでください。
- ◆ 電源コードを無理に引っ張ったり、濡れた手で電源プラグを差したり抜いたりせず、電源プラグの穴が緩い場合は、電源プラグを接続しないでください。火災の危険があります。
- ◆ 製品の上に水、コーヒー、飲料水など液体が入った容器を置かないでください。液体がこぼれて製品内部に入ると故障や火災の原因となります。
- ◆ 強い衝撃や振動は機器の故障の原因となりますので、使用の際はご注意ください。
- ◆ 通風のために製品の背面を壁から15cm以上、側面は5cm以上離してください。
- ◆ 強い磁気や電波がある場所、ラジオやTVなどの無線機器に近い場所は避けて設置してください。

## 使用者案内文

機種別	使用者案内文
A 級機器 (業務用放送通信機資材)	この機器は、業務用(A 級)電磁波適合機器であり、販売者または使用者はこの点を注意し、家庭以外の地域で使用することを目的とします。

## 目 次

<b>概要</b>	<b>6</b>
1. 付属品	6
2. 製品の特長	7
<b>設置</b>	<b>8</b>
1. 前面の名称および機能	8
2. 背面の名称および機能	10
3. リモコン	12
4. 他の機器との接続	13
5. DVRをオンにする	16
<b>動作説明</b>	<b>17</b>
1. 動作方法	17
1-1. マウス 操作法	17
1-2. メニュー操作法	17
2. ライブ画面設定	18
2-1. OSD説明	18
2-2. 画面選択	19
2-3. デジタルズーム	19
3. 再生	20
3-1. OSD説明	20
3-2. 再生コントロール	20
3-3. 再生中に検索	21
4. PTZコントロール	22
4-1. マウスによるPTZコントロール	22
4-2. キーボードコントローラPTZ コントロール	24
4-3. リモコンによるPTZ コントロール	24
4-4. クライアントによるPTZ コントロール	25
<b>メニュー設定</b>	<b>26</b>
1. 画面表示(DISPLAY)	26
2. 録画設定	31
3. システム設定	37
4. ネットワーク	47
5. イベント	51
<b>検索メニュー</b>	<b>55</b>
1. 録画データ検索	55
1-1. 日付/時間検索	55
1-2. イベント検索	56
1-3. カレンダー検索	56
1-4. お気に入り検索	58
2. 証拠資料バックアップ	59
3. ログ	61
<b>クライアントプログラム</b>	<b>62</b>
1. リアルタイム監視	64
2. 遠隔検索	67



2-1. 検索 .....	67
2-2. バックアップ .....	69
2-3. 遠隔ログ .....	71
2-4. 情報 .....	72
3. 遠隔設定 (メニュー設定方法はDVRと同じ) .....	72
3-1. 映像設定 .....	72
3-2. 録画設定 .....	74
3-3. システム設定 .....	78
3-4. イベント .....	83
4. 地域検索(ダウンロード映像を見る) .....	85
4-1. 検索 .....	86
4-2. ログ .....	89
4-3. 情報 .....	89
5. ローカル設定 .....	90
5-1. 基本設定 .....	90
5-2. 不透明度 .....	90
5-3. オーディオバッファー .....	91
5-4. カメラの名前 .....	91
6. PAN、TILT、ZOOM、FOCUS (遠隔PTZコントロール) .....	92
6-1. Pan / Tilt / Zoom / Focus .....	92
6-2. Preset / Learn .....	93
7. 画面位置の保存 / 呼び出し .....	94
7-1. 画面位置の保存 .....	94
7-2. 画面位置の呼び出し .....	94
8. ファームウェアのアップグレード .....	95
<b>添付 1. DDNSサーバー設定 .....</b>	<b>97</b>
<b>添付 2. ルーター設定 .....</b>	<b>99</b>
<b>添付 3. 製品仕様 .....</b>	<b>100</b>

## 概要

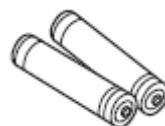
### 1. 付属品



電源アダプタ



リモコン



電池  
(AAA x2)



マウス



設置CD  
(クライアントプログラム、取扱説明書)

## 2. 製品の特長

### ● 便利性

- 使用者に親密なGUI (Graphical User Interface)
- 使用者が使いやすいメニュー構造.
- 簡単な録画資料の検索および再生.
- マウス、リモコン、前面ボタンを利用した簡単な機器の操作

### ● 安全性

- 電源エラー発生時、自動で再稼動
- 録画資料の安全性と効率的な保存空間活用DBを使用

### ● 拡張性

- PCクライアントプログラムで多数のDVR 遠隔コントロールが可能.

### ● 技術

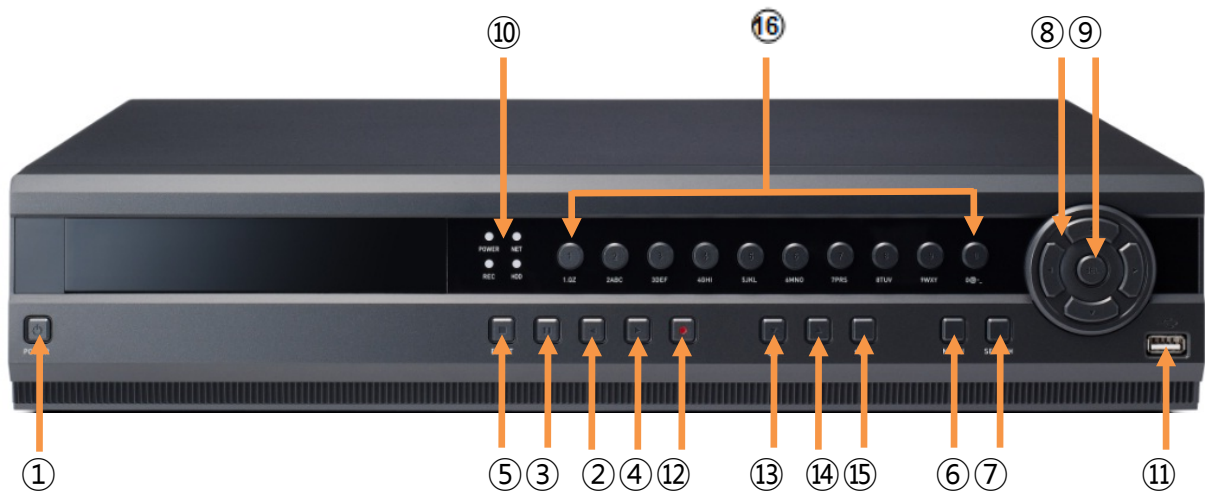
- 安定したEmbedded LINUX OSを使用.
- 各チャンネル当たりリアルタイム 録画
- 高画質、低容量のH.264コーデックを使用
- 映像変造防止の暗号化および復号化技術

### ● 機能

- 多様な録画方式(一般、アラーム、モーション、スケジュール録画など)
- RS485を利用したPTZカメラおよびコントローラコントロール.
- 全チャンネルをリアルタイムでモニタリング可能
- ライブ画面、録画、再生、バックアップ、遠隔接続が同時に可能
- 電子メール、ブザー、遠隔PCで多様な警報アラームが可能

## 設置

### 1. 前面の名称および機能



#### ① 電源ボタン ( )

電源をONにしたりDVRを終了するときに使用します。

#### ② 逆方向再生ボタン ( )

逆方向再生をします。再生中に押すと逆方向倍速再生をします。

#### ③ 一時停止ボタン ( )

画面を一時停止させます。

#### ④ 正方向再生ボタン ( )

正方向再生をします。再生中に押すと正方向倍速再生をします。

#### ⑤ 停止ボタン ( )

再生を停止させます。ライブ状態で押すとディスクが出ます。

#### ⑥ メニューボタン

システムメニュー画面に移動したり、メニュー画面から出るとき、使用します。

#### ⑦ 検索 ボタン

検索画面に移動します。

#### ⑧ 方向ボタン ( )

メニュー画面で設定値を変えたり、カーソルを上下左右に移動させるときに使用します。

#### ⑨ 選択ボタン ( )

メニュー画面の各項目を選択します。

### ⑩状態表示LED

- 電源 : 電源が印加され、DVRが動作すると点滅します。
- 録画 : 録画中に点滅します。
- HDD : HDDにデータを書き込んだり、読み込むときに点滅します。
- ネットワーク : ネットワークに接続されたら点滅します。

### ⑪ USB 2.0 Port

DVRの操作のためのマウス、バックアップ/アップグレードのためのUSBメモリスティックを接続します。

### ⑫ 録画ボタン (●)

緊急録画を実行/停止に使用します。

### ⑬ 分割画面ボタン

分割画面の操作に使用します。

### ⑭ PTZチャンネル選択ボタン

PTZチャンネル選択に使用します。

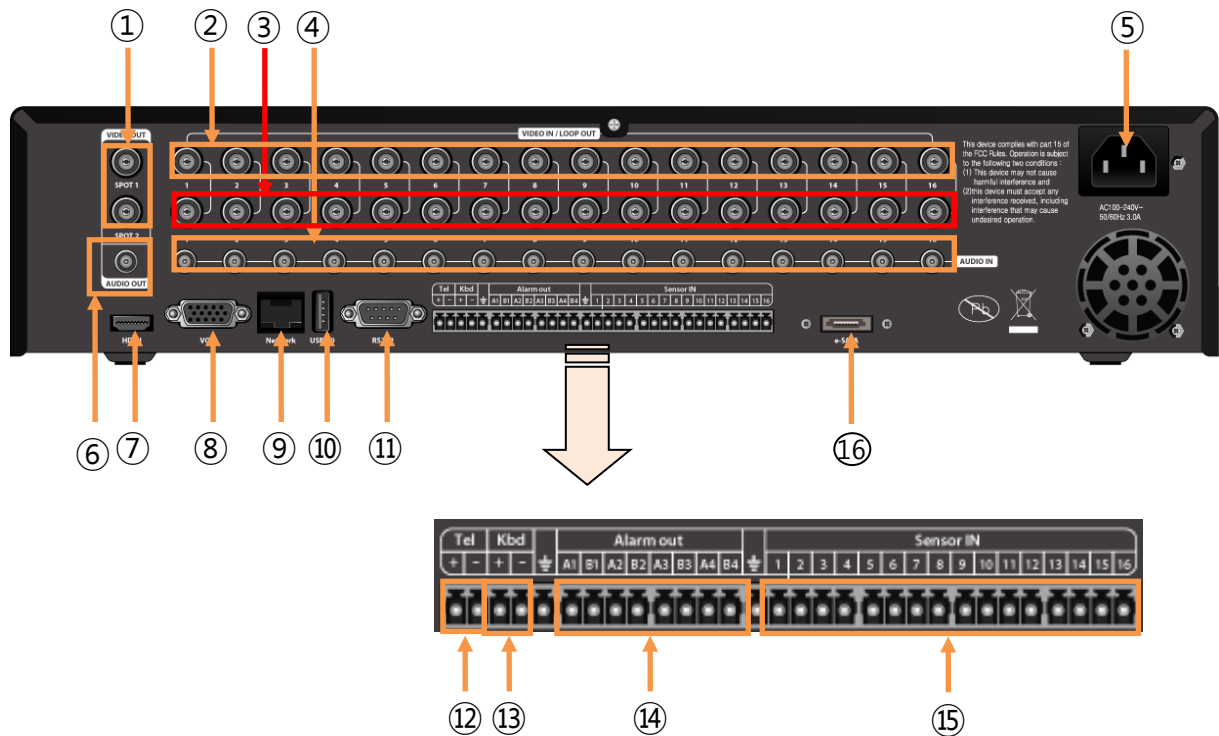
### ⑮ PTZモード選択ボタン

PTZ動作に使用します。ボタンを押すとコントロール画面が表示されます。

### ⑯ 数字/文字ボタン

チャンネルを選ぶおよびメニュー検索で文字/数字入力時に使用します。

## 2. 背面の名称および機能



### ① Spot Monitor Outputs

スポット映像出力 (Composite Video)

### ② Video Inputs

カメラ映像入力端子です。(RDD-044D: 4個, RDD-084D: 8個, RDD-164D: 16個)

### ③ Video Outputs

カメラループ出力端子です。(RDD-044D: 4個, RDD-084D: 8個, RDD-164D: 16個)

### ④ Audio Input

音声入力端子です。(RDD-044D: 4個, RDD-084D: 8個, RDD-164D: 16個)

### ⑤ AC Power Input

電源(AC 100-240V 50/60Hz) 入力端子です。

### ⑥ Audio Output

音声出力端子です。

**⑦ HDMI Output**

HDMI映像出力端子です。(1080p)

**⑧ VGA Output**

VGA映像出力端子です。(1024x768 to 1920x1080)

**⑨ Network Port**

ネットワーク接続端子です。

**⑩ USB Port**

USBタイプのデバイスを接続する端子です。(マウス、メモリスティックなど)

**⑪ RS232**

RS232通信端子です。(A/S専用端子)

**⑫ PTZ Camera Controller**

PTZカメラをコントロールするためのRS485端子です。

**⑬ Keyboard Controller**

キーボードコントローラを接続するためのRS485端子です。

**⑭ Alarm Output**

アラーム出力端子です。

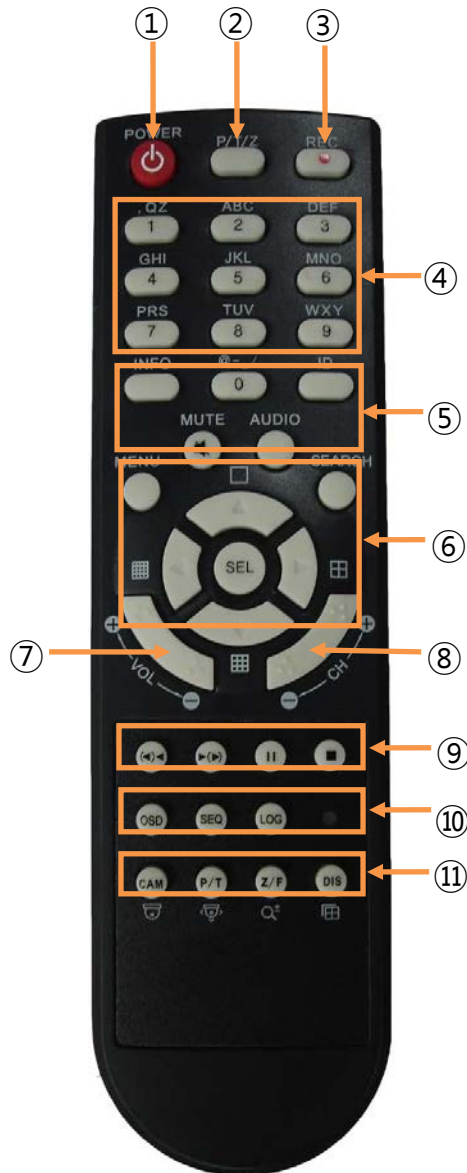
**⑮ Sensor Input**

センサー入力 端子です。(RDD-044D: 4個, RDD-084D: 8個, RDD-164D: 16個)

**⑯ E-SATA Port**

E-SATA接続端子です。E-SATA 大容量ストレージデバイスとHDDを接続します。

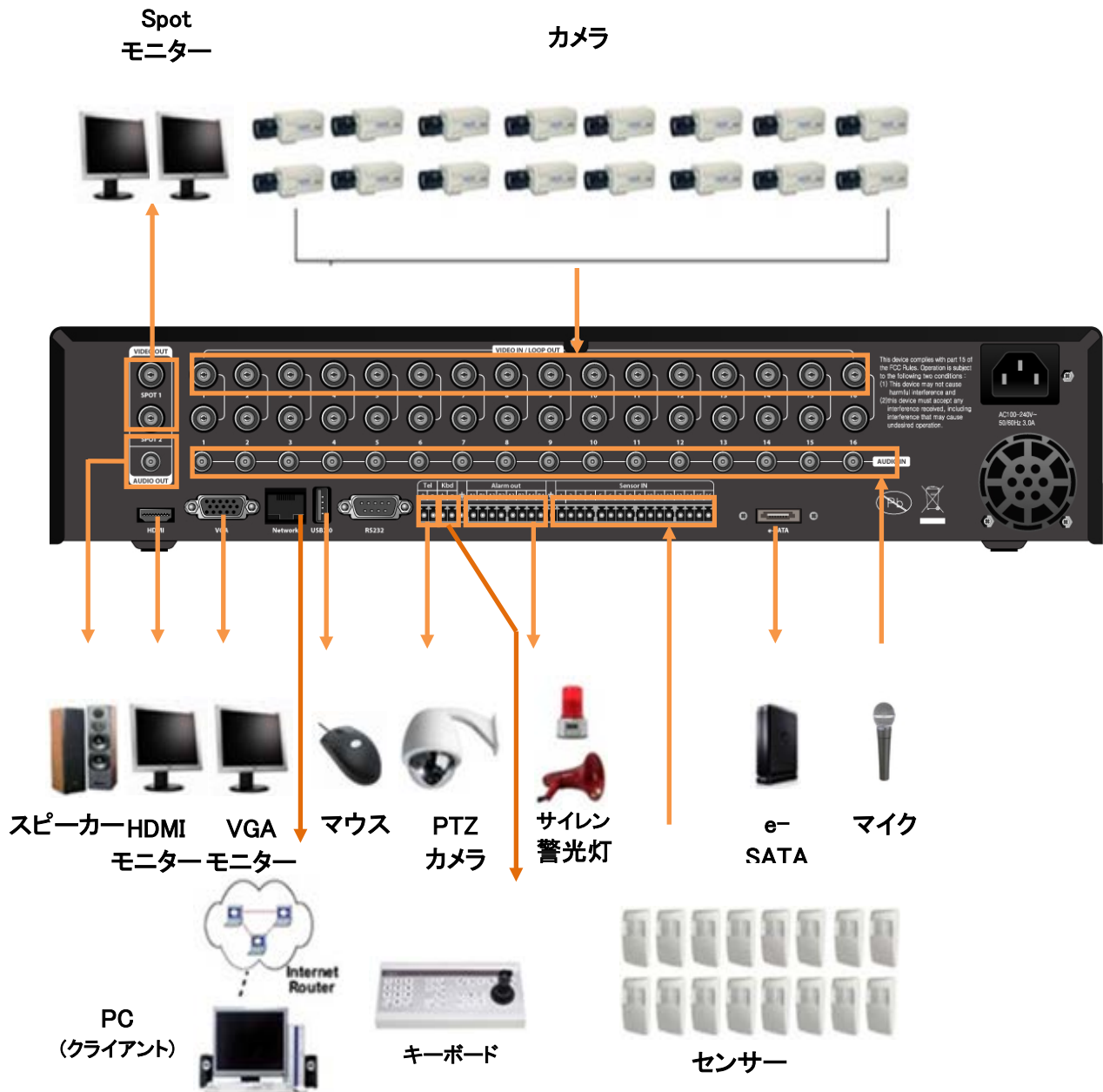
### 3. リモコン



- ① **POWER** : 電源をON/OFFにする
- ② **P/T/Z** : PTZメニュー 呼び出し/終了
- ③ **REC** : 録画開始/停止
- ④ **1~9** : 数字/文字入力
- ⑤ **INFO** : システム情報表示  
**ID** : リモコンID設定  
**MUTE** : 音声消去  
**AUDIO** : 音声チャンネル選択
- ⑥ **MENU**: メインメニュー 呼び出し  
**SEARCH**: 探索メニュー 呼び出し  
**ARROW** : カーソルを上/下/左/右に移動  
**SEL** : Select/Enter
- ⑦ **VOL +/-** : ボリューム アップ/ダウン
- ⑧ **CH +/-** : チャンネル アップ/ダウン
- ⑨ **(◀)◀** : 逆再生(逆倍速再生)  
**▶(▶)** : 再生(倍速再生)  
**II** : 一時停止  
**■** : 再生停止
- ⑩ **OSD** : OSD 表示 呼び出し/終了  
**SEQ** : 連続画面表示  
**LOG** : ログリスト表示
- ⑪ **CAM** : PTZカメラ選択  
**P/T** : Pan/Tiltモード選択  
**Z/F** : Zoom/Focusモード選択  
**DIS** : 分割画面選択



## 4. 他の機器との接続



### モニター接続

4つの映像出力端子があります。

- HDMI出力：モニターのHDMI端子に接続してください。(メイン映像)
- VGA出力：モニターのVGA端子に接続してください。(メイン映像)
- COMP出力：モニターのBNC端子に接続してください。(スポット映像 x2)

## カメラ接続

最大16つのカメラ入力が可能です。それぞれカメラのループアウト端子があり、他のモニターまたは録画デバイスに接続することができます。(RDD-044D: 4, RDD-084D: 8つのカメラ接続可能)

- カメラ入力：カメラの出力を上記のBNC端子に接続してください。

## オーディオ接続

16個 (RDD-044D: 4個, RDD-084D: 8個) のオーディオ入力端子と1つのオーディオ出力端子があります。

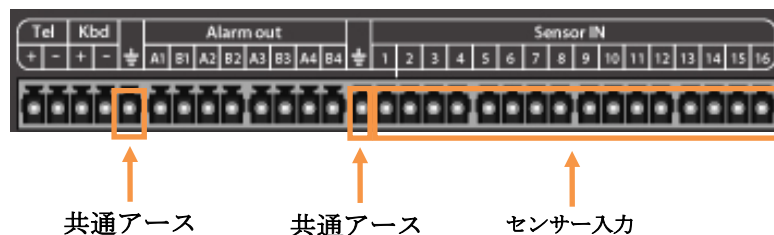
- オーディオ入力：マイクやその他のオーディオ出力をRCA端子に接続してください。
- オーディオ出力：スピーカーの入力端子に接続してください。

## ネットワーク接続

遠隔PCまたはスマートフォンでDVRの映像を見るおよびコントロールするため、ネットワーク端子にネットワーク線を接続してください。

## センサー入力接続

次の図のように16個 (RDD-044D: 4個, RDD-084D: 8個) のセンサー入力端子があります。



- センサー入力：センサーの(+)線を入力端子に接続してください。
- 共通アース: センサーの(-)線をアース端子に接続してください。

## アラーム出力接続

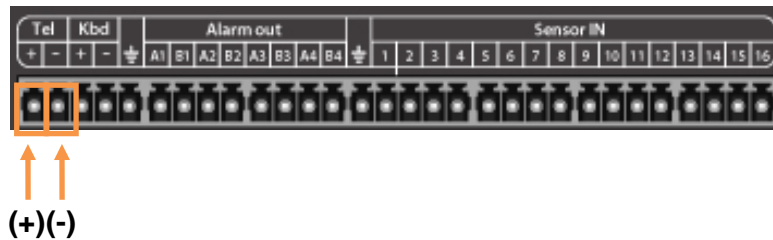
外部のサイレンまたは警光灯をDVR内部のリレーを通じて接続することができます。アラームのための4つのリレーがあります。



- A1/A2/A3/A4 : サイレンや警告灯の(+)端子を切断した一方を接続してください。
- B1/B2/B3/B4 : サイレンや警告灯の(-)端子を切断した一方を接続してください。

## PTZカメラ接続

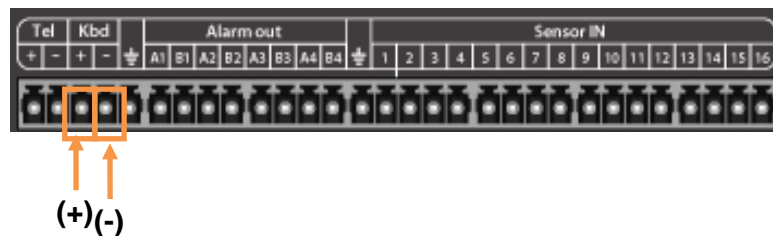
RS-485通信を支援するPTZカメラを接続してコントロールすることができます。



- カメラ(tel) (+) : PTZ カメラのRS485(+)を接続してください。
- カメラ(tel) (-) : PTZ カメラのRS485(-)を接続してください。

## キーボードコントローラ接続

RS-485通信を支援するキーボードコントローラを接続してコントロールすることができます。



- キーボード(kbd) (+) : キーボードコントローラのRS485 Tx(+)を接続してください。
- キーボード(kbd) (-) : キーボードコントローラのRS485 Tx(-)を接続してください。

## マウス接続

- USB 2.0 : USB端子にマウスケーブルを接続してください。

## 外付けHDD/ストレージ接続

HDD容量を追加するときは、e-Sata端子に追加のストレージデバイスを接続します。

- e-SATA : e-SATA方式のストレージ/ HDDを接続してください。

## 5. DVR をオンにする

1. 電源ケーブルを背面の端子に接続します。
2. カメラおよびオーディオを接続します。
3. ネットワークケーブルおよび映像出力を接続します。
4. 前面部ボタンの電源ボタンを押して少しすると、接続された映像出力端子でメイン画面が表示されます。メイン画面が見えるまで数分かかります。

## 動作説明

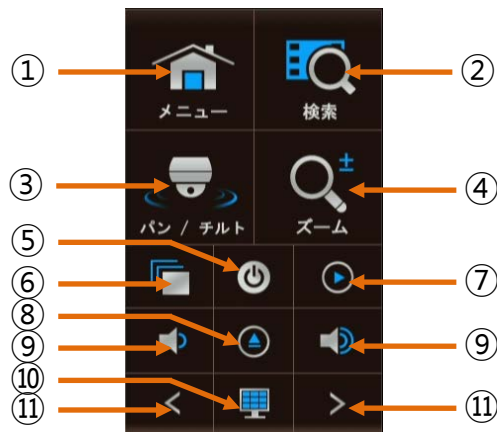
### 1. 動作方法

前面ボタン、マウス、リモコンで画面に表示されるメニューを通じてDVRを動作させることができます。

#### 1-1. マウス 操作法

マウス右ボタンをクリックすると下のポップアップメニューが表示されます。

- ① 設定メニュー
- ② 検索メニュー
- ③ PAN/Tiltメニュー
- ④ Focus/Zoomメニュー
- ⑤ 電源ボタン
- ⑥ 自動画面切換実行ボタン
- ⑦ 再生ボタン
- ⑧ DVDオープンボタン
- ⑨ 音声調整ボタン
- ⑩ 画面分割変更ボタン
- ⑪ チャンネル変更ボタン



#### 1-2. メニュー操作法

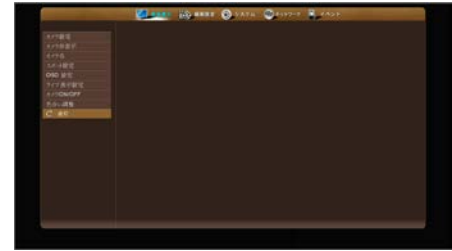
メニューを使用するには、ログイン状態でのみ可能です。ユーザーに対するアクセス権(IDおよび秘密番号)は、管理者によって付与され、システム設定メニューの「アカウント」メニューで設定することができます。メニューボタンを押すかマウス右クリックして設定メニューを選択すると、下の暗号を確認する画面が出ます。

- ① ユーザーID 選択
- ② パスワード入力
- ③「確認」ボタンを押すと設定メニューが表示されます。



すべてのメニューは方向キーとマウスで操作できます。

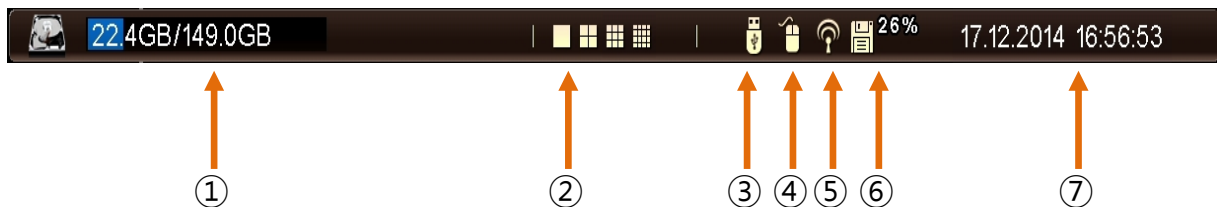
前のメニューに戻るときはメニューボタンを押すか、マウス右ボタンをクリックします。



## 2. ライブ画面設定


### 2-1. OSD 説明

画面下のステータスバーには、ハードの容量、ネットワーク接続、現在の時間などが表示されます。



- ① HDD 表示：現在使用量 / 全体容量
- ② 画面分割 変更ボタン：1/4/9/16チャンネル
- ③ USBメモリ表示：USBストレージデバイス接続時にアイコンが表示されます。
- ④ マウス 表示：マウス接続時にアイコンが表示されます。
- ⑤ ネットワーク 表示：ネットワークユーザー接続時にアイコンが表示されます。
- ⑥ バックアップ 表示：バックアップ中にライブ画面が出るとアイコンが表示されます
- ⑦ 現在の時間表示：現在の時間が表示されます。

## 2-2. 画面選択

ポップアップ メニュー画面分割変更ボタン()で映像分割画面を変更します。



全画面



4分割画面



9分割画面



16分割画面



またはリモコンの「DIS」ボタンで分割画面を変更できます。

分割画面の順序はボタンを押すごとに次のとおりに変わります。

RDD-164D: 全画面 → 4分割画面 → 9分割画面 → 16分割画面 → 全画面

RDD-084D: 全画面 → 4分割画面 → 9分割画面 → 全画面

RDD-044D: 全画面 → 4分割画面 → 全画面

## 2-3. デジタルズーム

全画面でご希望の部分をマウスの左ボタンを押しながらドラッグして領域を設定します。設定した領域をクリックすると映像が拡大されます。



右上のボックスには、現在拡大されている部分が表示されます。

マウスホイールを上に戻すと映像が拡大され、下に回すと映像が縮小されます。

マウスの左ボタンを押しながらドラッグすると、映像も一緒にドラッグされます。

右上のボックスで拡大したい部分をクリックすると、該当部分が表示されます。

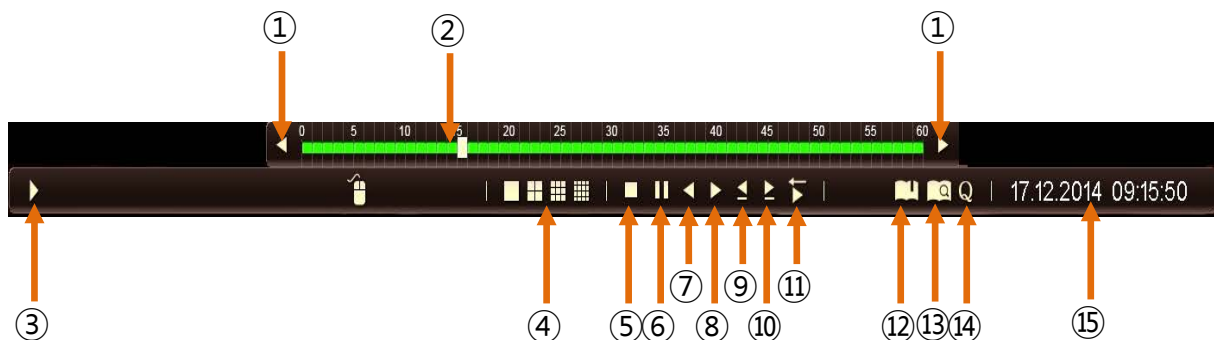
マウスの右ボタンをクリックすると、もう一度全画面に戻ります。

## 3. 再生

マウス右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。メニューの再生ボタンを押してください。

### 3-1. OSD 説明

再生モードでは、次のようなステータスバーが表示されます。ステータスバーには、再生コントロールボタン、画面分割ボタン、再生時間などが表示されます。



- |                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| ① 前/後時間ボタン                 | ⑨ 逆方向ゆっくり再生ボタン  |
| ② 時間表示バー                   | ⑩ ゆっくり再生ボタン     |
| ③ 再生状態表示                   | ⑪ リプレイボタン       |
| ④ 画面分割変更ボタン(1 /4 /9 /16CH) | ⑫ お気に入り登録ボタン    |
| ⑤ 再生停止ボタン                  | ⑬ お気に入り検索ボタン    |
| ⑥ 一時停止ボタン                  | ⑭ スピードバックアップボタン |
| ⑦ 逆方向再生/倍速ボタン              | ⑮ 再生日付/時間表示     |
| ⑧ 正方向再生/倍速ボタン              |                 |

### 3-2. 再生コントロール

#### 正方向再生

再生ボタン(⑧)を押すと、録画された映像が正方向再生されます。再生中に再生方向および倍速調節が可能です。どちらの再生方向や倍速でも正方向再生ボタン(⑧)を押すと正倍速で再生されます。

#### 逆方向再生

逆方向再生ボタン(⑦)を押すと逆方向再生されます。



### 一時停止

再生中に一時停止ボタン(⑥)を押すと、再生されている映像が停止されます。停止された状態で一時停止ボタンをもう一度押すと、再び再生されます。

### 正方向フレーム再生

一時停止状態で正方向再生ボタン(⑧)を押すと1フレームずつ正方向再生されます。

### 逆方向フレーム再生

一時停止状態で逆方向再生ボタン(⑦)を押すと1フレームずつ逆方向再生されます。

### 正方向倍速

正方向再生中に正方向再生ボタン(⑧)を押すと倍速調整できます。倍速はx2、x4、x8、x16倍速が可能です。

### 逆方向倍速

逆方向再生中に逆方向再生ボタン(⑦)を押すと倍速調整できます。倍速はx2、x4、x8、x16倍速が可能です。

### ゆっくり再生

再生中にゆっくり再生ボタン(⑩)を押すと正方向にゆっくり再生されます。倍速はx1/2、x1/4、x1/8、x1/16、x1/32が可能です。

### 逆方向ゆっくり再生

再生中に逆方向ゆっくり再生ボタン(⑨)を押すと逆方向にゆっくり再生されます。倍速はx1/2、x1/4、x1/8、x1/16、x1/32が可能です。

### 再生停止

再生中に停止ボタン(⑤)を押すとライブモードに変更されます。

## 3-3. 再生中に検索

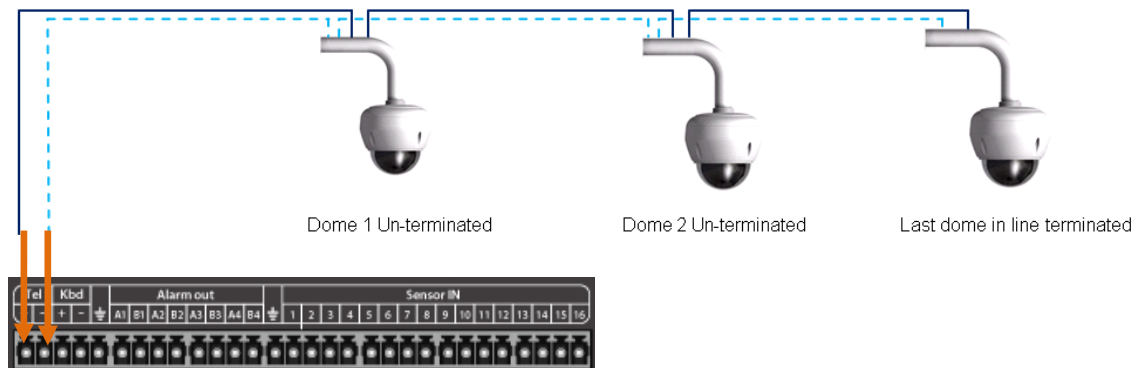
映像再生中に映像検索を行うことができます。保存された映像は、時間バー(②)に表示されます。前/後時間ボタンを利用して他の時間の映像を確認することができます。

時間バーで検索をご希望の時間を選択すると、その時間の映像が再生されます。

## 4. PTZ コントロール

RS485通信を利用して PTZ カメラコントロールが可能です。PTZカメラは直列接続します。

### 直列接続構成図

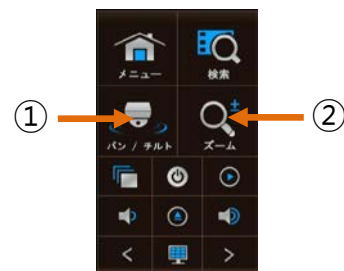


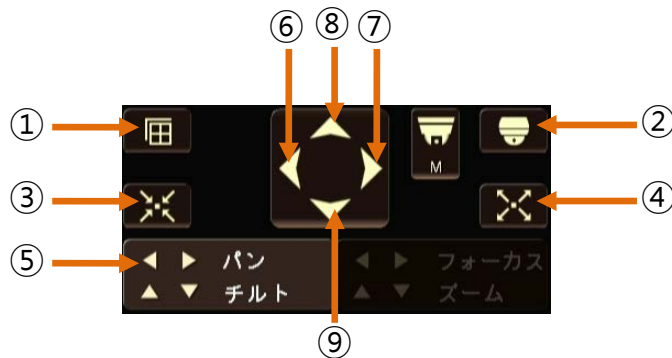
DVR で 4 つの方法で遠隔コントロールできます。

1. マウス
2. リモコン
3. キーボードコントローラ
4. クライアントプログラム

### 4-1. マウスによる PTZ コントロール

1. マウスを右クリックすると右側に次のように表示されます。
2. PAN/TILTコントロールをご希望であればPAN/TILTボタン(①)を押してください。  
Zoom/Focusコントロールをご希望であればZOOMボタン(②)を押してください。
3. 「2」を実行後、次のPTZメニューが表示されます。  
PTZメニューを利用してカメラ操作します。






- ① 分割画面変更ボタン
- ② PTZカメラ選択ボタン
- ③ Preset設定ボタン
- ④ Preset呼び出しボタン
- ⑤ PTZモードボタン：PAN/TILTモードで押すとZoom/Focusモードに変更されます。
- ⑥ 左に移動 / 焦点近づけボタン
- ⑦ 右に移動 / 焦点遠ざけボタン
- ⑧ 上に移動 / ズームインボタン
- ⑨ 下に移動 / ズームアウトボタン

## [ カメラ選択 ]

PTZ カメラは全画面、分割画面でコントロールできます。

分割画面でカメラ選択ボタン(②)を押すとPTZ カメラアイコン (  )が次のチャンネルに移動します。

## [PAN、TILT コントロール]

PTZ モードボタン(⑤)を押して PAN/TILT モードに切り換えます。





方向キーの操作でカメラを移動できます。

 (⑥)：左に移動、 (⑦)：右に移動、 (⑧)：上に移動、 (⑨)：下に移動

## [Zoom、焦点コントロール]

PTZ モードボタン(⑤)を押して Zoom/焦点モードに切り換えます。

方向キーの操作で拡大縮小、焦点調節できます。

 (⑥)：焦点を近づけ、 (⑦)：焦点を遠ざけ、 (⑧)：ズームイン、 (⑨)：ズームアウト

## [ Preset 設定 ]

1. Preset 位置の保存のために PTZ カメラをご希望の位置に移動します。
2. Preset 設定ボタン(③)を押すと保存のためのウィンドウが表示されます。
3. 保存する番号を入力して「選択」ボタンを押すと、Preset 設定がされます。

## [ Preset 呼び出し ]

1. Preset 呼び出しのために Preset 呼び出しボタン(④)を押すと呼び出しウィンドウが表示されます。
2. ご希望の呼び出し番号を入力して「選択」ボタンを押すと呼び出された位置に移動します。


## 4-2. キーボードコントローラ PTZ コントロール

1. キーボードでご希望のPTZカメラを選択した後、PAN/TILT、Zoom/Focusモードを選択をします。
2. キーボードのジョイスティックを使用してカメラを移動します。

\*詳細については、キーボードコントローラで提供する説明書をご覧ください。

## 4-3. リモコンによる PTZ コントロール

PTZ カメラは、全画面または分割画面でコントロールできます。

分割画面でカメラ選択ボタン(①)を押すと PTZ カメラのアイコン (  ) が次のチャンネルに移動します。

### [PAN、TILT コントロール]

P/T ボタン(②)を押すと P/T モードに切り換わります。

方向キーでカメラ移動します。

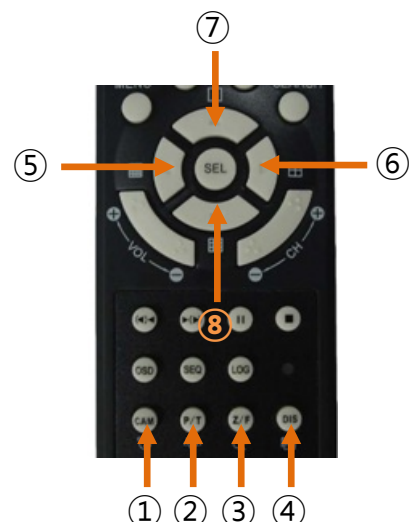
< (⑤) : 左に移動      > (⑥) : 右に移動  
 ^ (⑦) : 上に移動      v (⑧) : 下に移動

### [Zoom、焦点コントロール]

/F ボタン(③)を押すと Zoom/Focus モードに切り換わります。


方向キーで Zoom、Focus 設定します。

< (⑤) : 焦点を近づける      > (⑥) : 焦点を遠ざける  
 ^ (⑦) : ズームイン      v (⑧) : ズームアウト



## 4-4. クライアントによる PTZ コントロール

クライアントPTZコントロールのためにクライアントプログラムがDVRに接続されていなければなりません。

1. PAN/TILT モードを使用するために上にあるPTZ ボタン (  ) を押すとPAN/TILTコントロールウィンドウ(①)が表示されます。

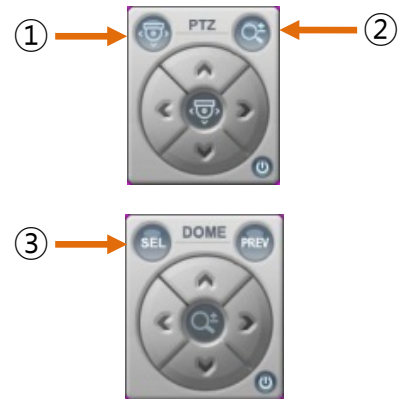
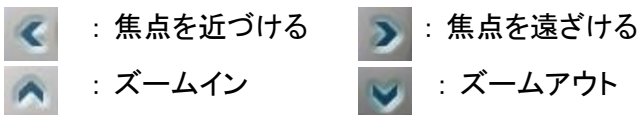
2. カメラ移動のために方向キーを使用します。



3. Zoom/Focusモードボタン(②)を押すとZoom/Focus

コントロールウィンドウ(③) が表示されます。

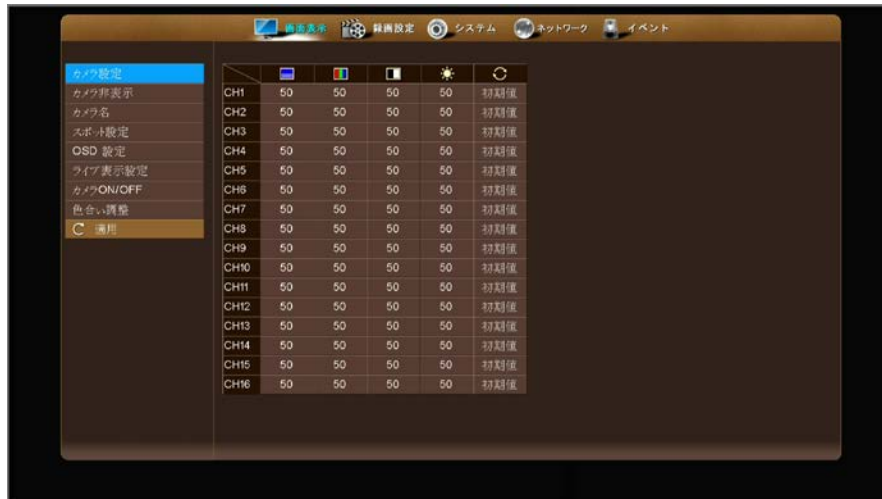
4. Zoom/Focus 調整に方向キーを使用します。



## メニュー設定

### 1. 画面表示(Display)

#### 1-1. カメラ設定：輝度、飽和度、コントラスト、色調



各カメラ別に輝度、飽和度、コントラスト、色調値を変更することができます。方向キーでご希望の値を選択し「Sel」キーを押すとその位置の色が変更されます。その後も数字キーで値を変更してください。

マウスで変更をご希望する値を選択すると値を入力することができるメニューが表示され、そのメニューで値を入力した後「確認」を選択してください。

#### 1-2. 映像非表示

ライブおよび再生画面でカメラ映像が表示されないようにすることができます。

映像を非表示にするために、上・下方向キーでご希望のカメラを選択した後、セレクトキーを押すと緑色に変わります。そして、上・下方向キーで操作すると「OFF」「ON」に変わります。変更はマウスでクリックしても可能です。変更内容の適用確認はメニューから出た後にできます。

権限がない場合は変更することはできません。

## 1-3. カメラの名前

各カメラはマウスや前面ボタンの数字キーで名前を変更することができます。

名前は32字以内にし、文字が長い場合は減らして表示されます。

例) “FIRST MEETING ROOM” → “FIRST MEETIN…”

上・下方向キーでご希望のカメラを選択し「Sel」キーを押すと緑色に変わります。ボックスの中のカーソルは左・右キーの位置を選択し、数字ボタンで文字を入力してください。(携帯電話のボタン入力と似ています)の変更が完了したら「Sel」キーを押して出ます。

マウス使用時は画面にキーボードが表示されます。マウスボタンで文字を選択し、入力完了したら「OK」ボタンをクリックします。

## 1-4. スポット設定



< 全画面モード >



< 4分割画面モード >

まず「モード」を選択し、ご希望のモードを方向キーで設定します。その後も「時間」メニューでモードに応じて持続時間およびOFF/ONを選択します。

マウスでは、変更したい位置でクリックすると値が変更されます。

## 1-5. OSD設定

画面に表示される情報の表示の有無および時間設定をします。



### 状態表示バー

ライブ状態表示バーを続けて表示したり、設定された時間後に消えるように設定することができます。

### 再生表示バー

再生状態表示バーを続けて表示したり、設定された時間後に消えるように設定することができます。

### PTZチャンネル

PTZチャンネル表示をしたり、非表示にしたりできます。

### イベント

モーション、アラームなどのイベントアイコンを表示したり、非表示にしたりできます。

### カメラの名前

カメラの名前を画面に表示したり、非表示にしたりできます。

### PTZ表示

PTZコントロールウィンドウの表示が維持される時間を設定します。時間が経過すれば自動で消えます。



## PTZ時間満了

PTZ動作がない間、PTZモードが維持される時間を設定します。

## PTZ モード

PTZコントロールを行うことができる権限を与えます。(DVR、キーボードコントローラ、遠隔)

## メニュー設定

メニューモードで入力がないときメニュー画面が維持される時間を設定します。

## パスワード入力

パスワードモードで入力がないときメニュー画面が維持される時間を設定します

## 透明度

映像上に表示されるメニューの透明度を0～6の間で設定することができます。

「0」を設定すると、メニューの後ろの映像が見えず、「6」に設定するとよく見えます。

## 1-6. ライブ映像設定

ライブ映像設定では全画面/分割画面が順に表示されます。



方向キーで「映像切り替え設定」メニューで画面の構成を設定します。(全画面、4分割、9分割)映像は個別に設定された順次時間に応じて変更されます。「映像切り替え設定」メニューでセレクトキーを押して上・下方向キーで時間を変更します。

マウスで「映像切り替え設定」で時間を選択し「開始」を押すと画面が切り替わり、画面が順に変わります。マウスボタンや前面ボタンで映像切り替えを停止し、ご希望の映像を見ることができます。

## 1-7. カメラの状態



DVRに接続されているカメラを表示します。

**注意：** すべてのメニュー項目で設定を変えた後、必ず「適用」ボタンを押してください。  
「適用」ボタンを押さなければ設定した内容が保存されません。

## 2. 録画設定

すべての録画データは操作できないように暗号化されています。付属品のソフトウェアで操作の有無を確認することができます。



### 2-1. 基本設定

#### ウォーターマーク

一般的に、常に設定することをお勧めします。ウォーターマークが含まれているファイルをバックアップした後、任意でファイルの内容を変更したり破損させると、操作された資料という情報が表示されます。

#### 繰り返し録画

一般的に、常に設定することをお勧めします。HDDがいっぱいになって録画できないことを防いでくれます。

#### 映像画質

映像画質は「最もよい」「よい」「普通」から選択できます。

#### アラームモード

独自形式=アラームが発生したチャンネルのみを録画します。

一般=アラーム、モーション、オーディオイベントの発生時に「アラーム録画」メニューの設定に応じて録画します。

#### 非アラーム解像度

アラーム録画中にアラームが発生していないチャンネルの録画解像度を設定します。

## 非アラームFPS

アラーム録画中にアラームが発生していないチャンネルの録画フレーム数を設定します。

## イベント後の録画時間

アラームモードでアラームイベントが発生した後、録画持続時間を設定します。(1秒～99秒)

## イベント前の解像度

アラームイベントが発生する前に録画する解像度を設定します。

## イベント前のFPS

アラームイベントが発生する前に録画するチャンネルのフレーム数を設定します。

## イベント前の録画時間

アラームイベント発生時に発生前のデータ保存時間を設定します。(最大20秒)

## 2-2. 録画

1チャンネル当たりの持続的に録画する方法を設定します。

### 録画可能フレーム:

CIF (360x240), 各チャンネルに対して1秒当たり30枚録画できます。

2CIF (720x240) 各チャンネルに対して1秒当たり30枚録画できます。

D1 (720x480), 各チャンネルに対して1秒当たり30枚録画できます。

960H (960x480), 各チャンネルに対して1秒当たり30枚録画できます。

各カメラに録画フレームおよびオーディオ選択を個別に行うことができます。



## 2-3. アラーム 録画

DVRの背面にアラームイベント用センサー入力端子が16個(RDD-044D: 4個, RDD-084D: 8個)あります。

解像度、フレーム、オーディオ設定は一般録画と同じです。



各アラームイベントに対して4つのPTZカメラPreset設定またはツアー設定ができます。「設定」を選択してカメラ動作を設定してください。(RS485PTZカメラと接続されていときに動作します)

### [アラームタイマー]

センサー入力が発生したとき、アラームが鳴る時間を設定することができます。

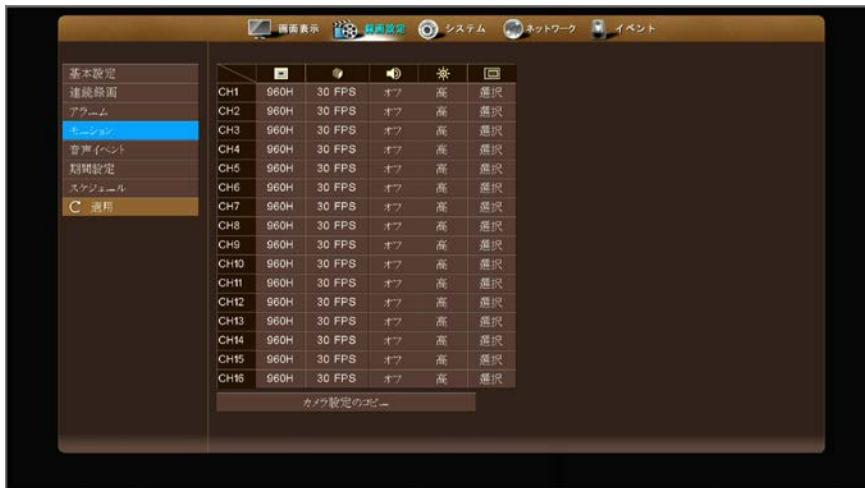
- 一般: センサー入力がなくなればアラームが OFF になります。
- 確認: リモコンの「SEL(選択)」ボタンまたはマウスの左ボタンをクリックすることにより、アラームを OFF にすることができます。
- 時間満了: 設定された時間後に自動的にアラームが OFF になります。

### [キー切換]

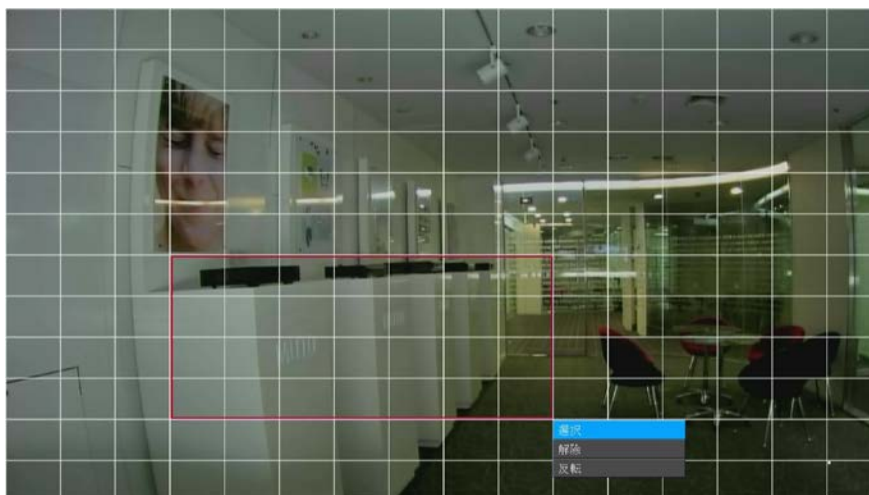
センサー全体の中から一つの特定のセンサーによりすべてのセンサーの動作を停止させることができます。選択されたセンサーの入力があれば、残りのすべてのセンサー入力が無視されるため、他のセンサー入力があってもアラームが鳴りません。選択されたセンサーの入力がなければ、他のセンサー入力によって正常にアラームが鳴ります。

## 2-4. モーション録画

カメラに動きが感知されると録画されます。解像度、フレーム、オーディオ設定は、一般録画と同じです。チャンネル別のモーション感度および感知領域設定が可能です。



「選択」を押すと動き感知領域を設定することができます。



感知領域は、16x12のブロックに分かれています。全体領域感知が基本設定です。

マウスをドラッグしてモーション感知領域を設定し、「選択」ボタンを押すと設定した領域が保存されます。同一な方法で他の部分にもモーション感知領域の設定できます。

敏感度設定時、カメラ接続後に敏感度値を変更し、動作確認した後に適した敏感度を選択することをお勧めします。

外部に接続されたカメラは、モーション機能の使用をお勧めしません。

## 2-5. 音声 イベント 録画

16個(RDD-044D: 4個, RDD-084D: 8個)の音声入力と1つの音声出力があります。音声感知されると録画されます。解像度、フレーム、オーディオ設定は、一般の録画と同じです。チャンネル別に敏感度設定が可能です。



## 2-6. 持続時間

持続時間モードはHDDに保存できる録画期間を設定することができます。録画期間を設定すると予め設定された録画解像度および録画過失を考慮して録画フレーム数が自動で計算されます。





## 2-7. スケジュール録画

スケジュール録画は日付別、時間ごとに録画設定をすることができます。設定値は全チャンネルに適用され、すでに設定された一般/アラーム/モーション/音声/持続録画設定値によって録画されます。



スケジュール録画選択時に時間表が表示されます。各時間に対して活性(オレンジ色)/非活性(灰色)が選択できます。



方向キーで設定したい時間に移動し「Sel」キーで活性/非活性させます。「検索」キーで時間表とプロファイルメニューを移動します。

マウスでご希望の位置をクリックすると活性/非活性になります。



## 3. システム設定

### 3-1. 基本設定

言語、自動削除モード、日付形式、時間/夏時間設定、映像タイプ、リモコンアドレスを設定することができます。また、システム情報確認および初期化を実行することができます。



#### 言語

言語を選択します。韓国語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、ロシア語、ポーランド語、スペイン語、日本語、トルコ語、デンマーク語、チェコ語などが支援されます。

#### 自動削除モード

設定された日数以前の録画データを自動的に削除する機能です。0～99日が選択可能で、0日は「なし」で表示されます。

#### 日付形式

初期設定は「日-月-年」で、「月-日-年」「年-月-日」で形式を設定することができます。

#### 時間/夏時間設定

DVRの日付、時間を設定します。時間をクリックするとキーボードが表示され、日付、時間設定が完了したら「OK」を選択します。時間設定後、夏時間設定のために国名を選択してください。



設定する国名が表示されていない場合は、ユーザー設定で直接設定することができます。



## \*\* 参考：時間変更による映像再生

DVR は日付や時間の順にハードディスクに映像を保存します。したがって、時間を繰り上げて変更した場合、問題が発生することがあります。

例えば、録画が継続されている状況で、夏時間が 10 月午前 2 時に適用されている場合、午前 1 時から午前 2 時までの間の映像は正しく探索することができません。なぜなら、午前 2 時まで保存された部分に再び 1 時間繰り上がって午前 1 時から別の映像が録画されることになるからです。

日付および時間の設定は、前面ボタンやマウス、リモコンで設定することができます。

## 映像タイプ

映像タイプは初期化せず設定可能です。初期は、PALになっておりメニューでNTSCに変更することができます。

## リモコンアドレス

何台かのDVRがリモコンに反応できる近さで設置されている場合に備えて、それぞれのDVRに固有のリモコンアドレスを設定することができます。

アドレスは、00～15までの16個が可能で、初期値は11に設定されています。設定方法は、まずリモコンのアドレスメニューでご希望の値に設定して、適用します。DVRアドレス変更が完了したら、リモコンのIDボタンを押して変更するアドレスを入力します。もう一度IDボタンを押して、LEDが点滅しているか確認します。LEDが点滅していない場合は、アドレスが変更されません。この場合は、もう一度設定ください。



## VGA解像度

VGA出力解像度は1024x768から1920x1080まで設定できます。

## 初期化

すべての設定がシステム初期化されます。初期化を完了するために必要に応じて、電源をON - OFFすることができます。

## システム情報

次の図のように、HDDの空き領域、現在のファームウェアのバージョン、IPアドレスやMAC アドレスを確認することができます。



## 3-2. ディスク

### フォーマット

新しいハードディスクを設置したり、ハードディスクのすべての情報を消去したい場合は、フォーマットを実行することができます。

フォーマットメニューでOFFをONに設定した後、「フォーマット実行」を押して実行します。



### e-SATA Function

e-SATAに接続された外部ストレージデバイスの使用方法を設定します。(バックアップ/ミラーリング/内部ディスク)

- **バックアップ**: 内部HDDに録画されているファイルを外部**e-SATA HDD**にバックアップする時選択
- **ミラーリング**: 現在録画しているファイルを同時に外部 **e-SATA HDD**に録画する時に選択
- **内部ディスク**: 内部HDD録画容量を拡張する時に選択

**\*\* 注意 :** **e-SATA** 機能設定後、**DVR**を再起動しなければなりません。

**1 Bay HDD** タイプの **e-SATA Storage**を使用してください。

### Smart (スマート機能)

SMARTメニューではハードディスクの状態を確認することができます。確認できる状態メニューは次のとおりです。

1. ハードディスクの読み込み・書き込みのエラー
2. ハードディスクの温度

上記の機能を実行するには、SMARTメニューの設定で3つのオプションを変更します。

- SMART : SMART機能を実行します。
- 温度 : 仮想キーボードを利用して制限したいハードディスクの温度を設定します。

(推奨温度値は45度です)

メッセージボックス:「ON」に設定されている場合は、エラー発生時に警告ウィンドウが表示されます。  
イベントメニューで電子メール設定時には電子メールでもエラー情報確認が可能です。

## 3-3. アカウント

ユーザーの設定権限およびパスワードを各ユーザーに応じて個別に設定することができます。

- 管理者レベル:すべてのメニューの設定権限があります。
- 責任者レベル:録画停止およびシステムの終了を除くすべての設定権限があります。
- ユーザー1-25:再生および探索、PTZ設定、ネットワーク設定権限があります。

各ユーザーの権限を要件に応じて個別に設定することができ、管理者レベルでログインした時のみ変更が可能です。




## ユーザーのアカウント設定および権限

レベルメニューを押して表示される各ユーザーのページでパスワードを変更するか、ご希望の権限をチェックして設定します。ユーザーIDおよびパスワードは、仮想キーボードを使用して変更できます。

- メニュー設定 :メニューにアクセスできる権限があります。
- 再生/探索 :再生および探索を行うことができる権限があります。
- バックアップ :映像をバックアップすることができる権限があります。
- 録画停止 :録画を停止することができる権限があります。
- PTZ :PTZカメラをコントロールすることができる権限があります。
- ネットワーク :クライアントプログラムを使用して遠隔でコントロールすることができる権限があります。
- 映像非表示 :映像を見せないようにできる権限があります。
- システム終了 :システムの電源をOFFにする権限があります。

設定をすべて完了した後は、使用したボックスをチェックしなければユーザー登録ができません。


## 自動ログアウト設定

ユーザーが指定した任意の時間の間DVRを操作していない場合は、自動的にログアウトになります。ユーザーのレベルはこの機能を使用できるように設定されていなければなりません。アカウントメニューの下にあるアイコンを押すと、次のようなページが表示されます。



「ローカル」は、前面部およびリモコン、マウスによる操作がない場合のログアウト時間を設定します。「クライアント」は、クライアントプログラムでの操作がない場合のログアウト時間を設定します。設定時間はOFF、15分、30分、1時間の順に設定できます。

## バックアップログアクセス

メニューの下にあるアイコンを押すと、次のようなページが表示されます。




バックアップ ログは、パスワードで保護されています。ユーザー別のパスワードを変更することができます。

この機能でユーザーの DVR 動作/メニューの変更を追跡することができます。

## 3-4. プログラムアップデート

プログラムのアップデート中には再生およびネットワーク接続が停止されます。



USBポートにメモリスティックが接続されると、ステータスバーにアイコン  が表示され、ファームウェアをアップデートすることができます。また、CD/ DVD媒体を通じてもアップデートできます。

「メニュー」 - > 「System」 - > 「プログラムアップデート」を押したとき、新しいファームウェアがある場合は「新しいプログラムを発見！」というフレーズが表示されます。選択ボタンを押すとアップデートが行われ、進行状況はパーセントで表示されます。

### 注意

1. デバイスが接続された後に新しいファームウェアでない場合は「新しいプログラムがありません」というフレーズが表示されます。
2. 安定したプログラムのアップデートのためには1)レコーディング2)再生3)ネットワーク接続を停止してください。
3. プログラムのアップデート後には、DVRを再稼働することをお勧めします。アップデート完了後、電源ボタンを押してパスワードを入力すれば簡単に再稼働します。



## 3-5. PTZ設定

DVR背面のRS485端子および同じ側のケーブルでPTZ カメラをコントロールすることができます。各カメラごとにID、プロトコル、転送速度などを設定します。



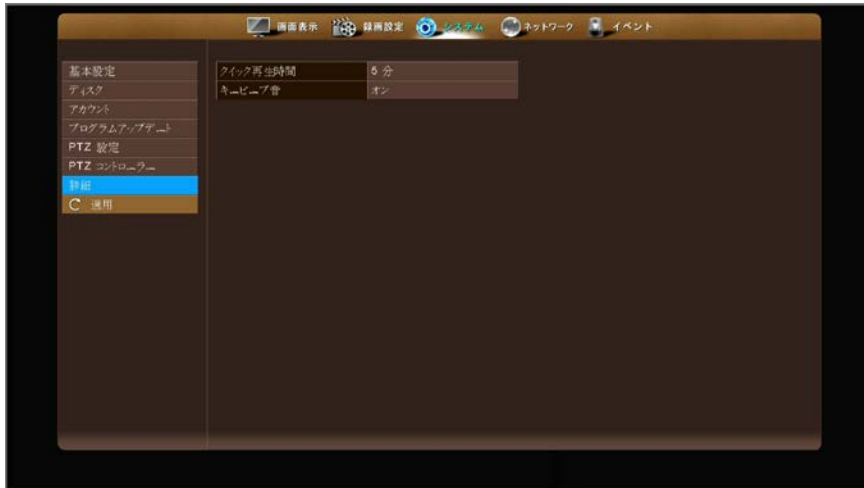
## 3-6. PTZコントローラ

背面部のキーボードの接続端子を通じてキーボードのRS485端子と接続し、PTZコントローラメニューを利用してID、通信プロトコルおよび転送速度を設定します。

PTZコントローラIDはPTZカメラのIDを使用することができません。




## 3-7. その他の設定



リプレイ時間: 再生ボタンを押すと現在の時間で設定された時間以前の録画データから再生されます。1～60分以内で設定することができます。

キーのビープ音: 前面部のボタンを押したとき、ビープ音の音を調整します。(OFF/ON)

## 4. ネットワーク

DVRにネットワークデバイスが接続されるとライブ画面のステータスバーに  アイコンが表示されます。

ネットワークメニューではDDNS、IP設定、NTP、ネットワーク映像設定、帯域幅を変更および設定を行うことができます。



### 4-1. DDNS

DDNS(ダイナミックドメインネームシステム)は、IPアドレスをわかりやすいドメイン名に変換するサービスです。DNSとは異なり、動的IP(DHCPサーバーやISPで割り当てられるIP)でも動作できます。すなわち、DVRの固定IPがなくても、Web上でDVRの映像を見たり、設定を変更することができます。添付1「DDNS設定」を参照してください。



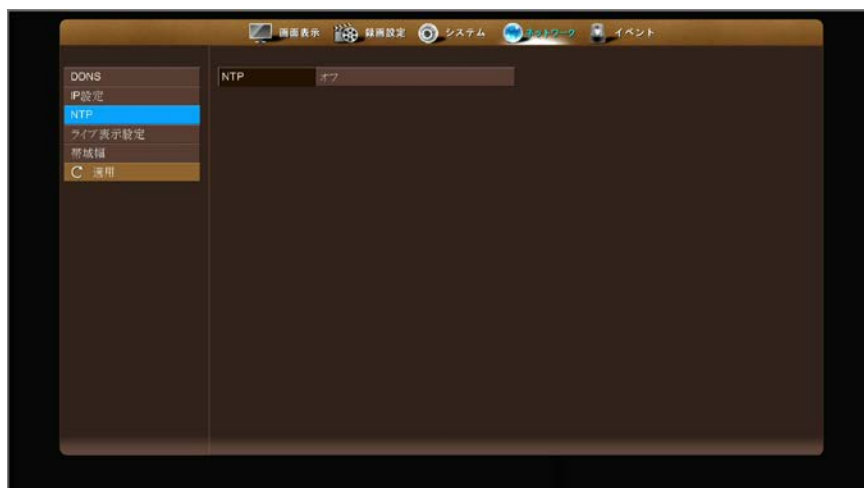
## 4-2. IP設定

固定IP使用時には「動的IP」設定を「いいえ」にしなければなりません。この場合にはIP、ゲートウェイおよびネットマスクアドレスを入力しなければならず、アドレスを知らない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。DVRにADSL線が直接接続されている場合は「DSL ID」および「DSLパスワード」を入力しなければなりません。通信ポートの初期値はDVR port(2000), Webポート(80)であり、変更可能です。



## 4-3. NTP

NTP(ネットワークタイムプロトコル)は、DVRの時間と外部のタイムサーバーとの同期化のために使用します。基本設定は「OFF」になっています。

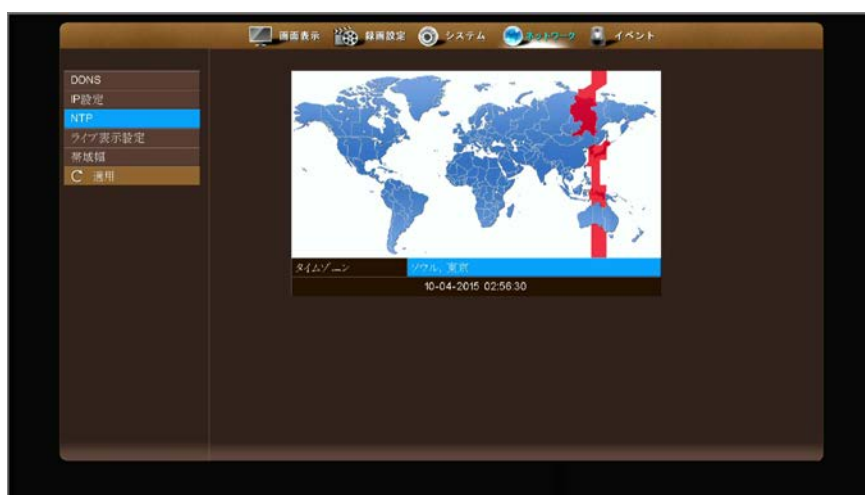


NTPサービスの種類を選択した後、サーバータイムは基本(time.bora.net),ドメイン、IPのうちで選択できます。

## RDD-044D/RDD-084D/RDD-164D 設置および取扱説明書



地図上の都市を選択して時間帯を設定することができます。方向キーを使用して都市を選択してください。



### 4-4. ネットワーク映像設定

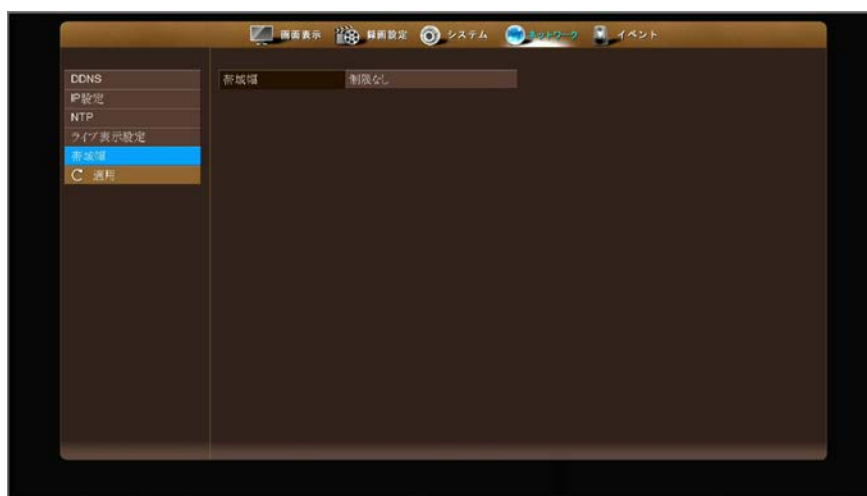
DVRに保存されている映像とは別の映像をネットワークに転送できます。

画質および解像度を変更して、ネットワークの状況に最適化されたストリーミングサービスを提供します。



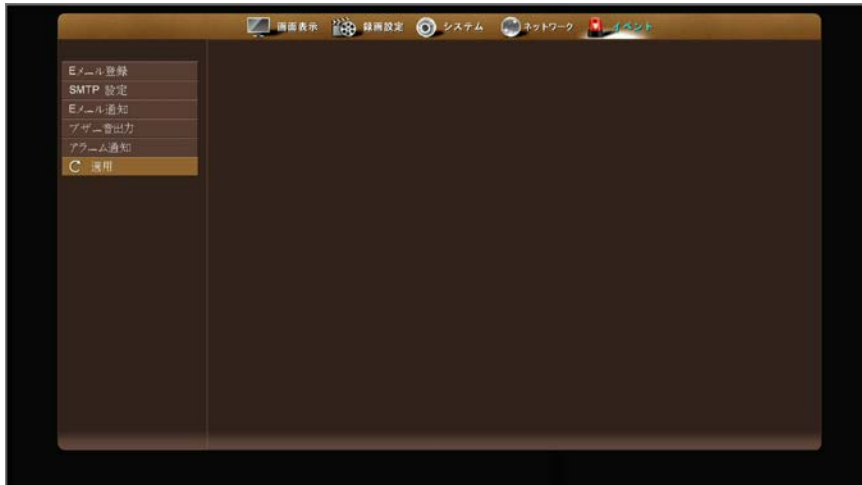
### 4-5. 帯域幅

帯域幅調整でネットワークの速度が遅い所でもスピーディな映像転送が可能です。



## 5. イベント

イベントメニューはイベントが発生したときにブザー設定、アラーム出力設定およびメールを送信するアドレスを設定します。



### 5-1. 電子メール登録

アラーム発生、動き発生、映像が消えるなどのイベント発生時にその内容を知らせるメールアドレスを設定します。最大3つまで設定することができます。

メールはDVRがインターネットに接続されている場合にのみ送信可能です。



電子メールアドレスの設定は、前面部/リモコンの数字ボタンを押して設定することができ、マウスで入力するときは、画面に表示される仮想キーボードで設定することができます。

「送信するメールアドレス」は、ユーザーにメールが受信がされたときに表示される名前です。ご使用のDVRをよく区分できる名前で適用させます。

「レポート周期」設定変更により、メールを送信する回数を調節することができます。イベント発生時に即時に送信したり、一日や一週間分まとめてメールを送信することも可能です。

**開始/終了時間** : メールを送信するイベントの時間範囲を設定します。設定された時間以内のイベントのみメール送信可能です。

**テストメールの送信** : メールアドレスの入力が正確にされていることを確認するときに使用します。

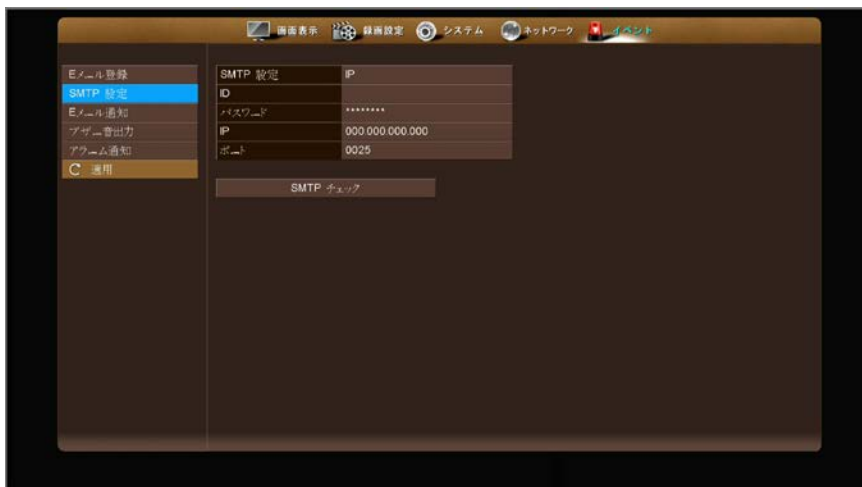
## 5-2. SMTP設定

SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)は、LAN を通じて電子メールを送信できるようにします。

SMTP の基本設定は OFF になっています。

SMTP を使用するには、まず「SMTP 設定」を IP かドメインに変更した後、ID、秘密番号、IP アドレス、ポートを設定してください。

最後に「SMTPの状態チェック」を押して、問題がないか確認してください。



## 5-3. 電子メール通知

メールを送信するイベントを設定するメニューです。

映像損失、アラーム、モーション、音声、電源損失、SMART(ハードディスクモニターリング)の6つのイベントに対してユーザー別に電子メールを送信するかどうかを設定することができ、該当イベント別に関連するイメージも添付することができます。





## 5-4. 警告音通知



ブザー音を設定するメニューです。アラーム、モーション、映像損失、電源損失、Smart (Hard disk monitoring) の5つのイベントを設定することができます。ビーブ音の持続時間設定も可能です。

## 5-5. アラーム出力



イベント発生時にアラームリレーを駆動させるメニューです。映像損失、アラーム、モーション、音声、電源損失、SMART (Hard disk monitoring) の6つのイベントに対してリレー駆動をするかどうか、リレー持続時間の設定が可能です。

### [リレーフォロー]

複数台の DVRを1台のモニターで視聴できるようにした機能です。

別売の Matrix スイッチボックスに複数台の DVR 映像出力とリレー出力を繋げてスイッチボックスの映像出力をモニターにつなげます。スイッチボックスが各DVRのリレー出力を感知する度、該当のDVRの映像をモニターに出力します。

### [リレーコントロール]

- 通常：センサー入力がある時、リレーがONになります。
- オン：センサー入力に関係なくリレーがONになります。
- オフ：センサー入力に関係なくリレーがOFFになります。

## 検索メニュー

### 1. 録画データ検索

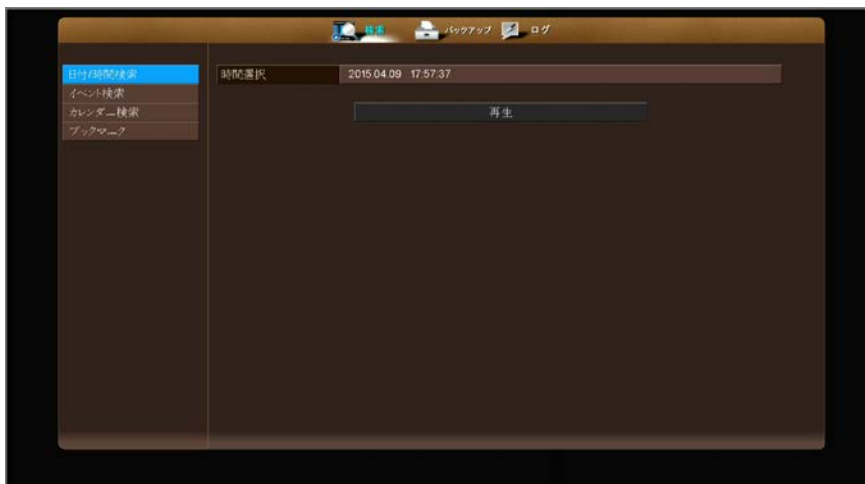
DVRに保存されたデータを特定の時間またはイベントで検索が可能です。

マウス右ボタンをクリックして、ポップアップメニューの「SEARCH」ボタンを押すと、検索メニューを見ることができます。  
(前面部のSEARCHボタンを押しても同じように動作します)



#### 1-1. 日付/時間検索

日付/時間を選択すると、次のようなメニューが表示されます。前面部/リモコンの数字ボタンまたはマウスで時間を選択し「再生」を押してください。



## 1-2. イベント検索

アラーム、モーション、音声イベントを検索することができます。マウスか左右方向キーで検索したいイベントを選択します。

アラーム - アラームイベントが発生した時間別に検索します。

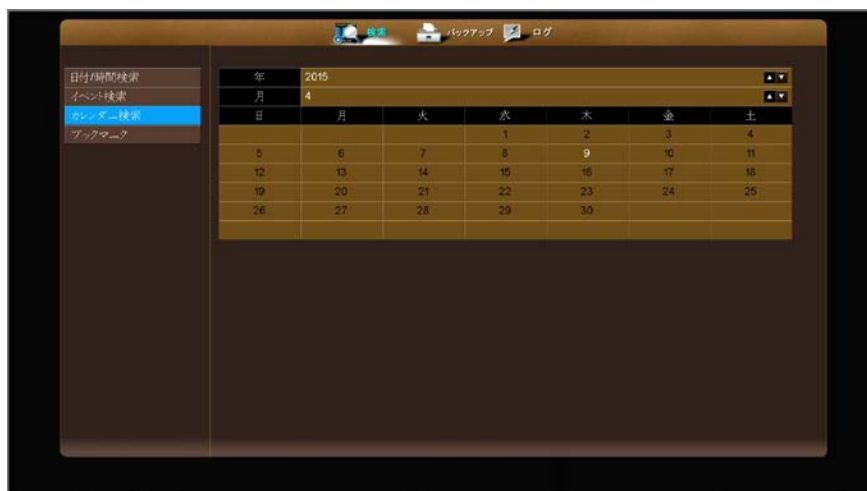
モーション - モーションイベントが発生した時間別に検索します。

音声 - 音声イベントが発生した時間別に検索します。



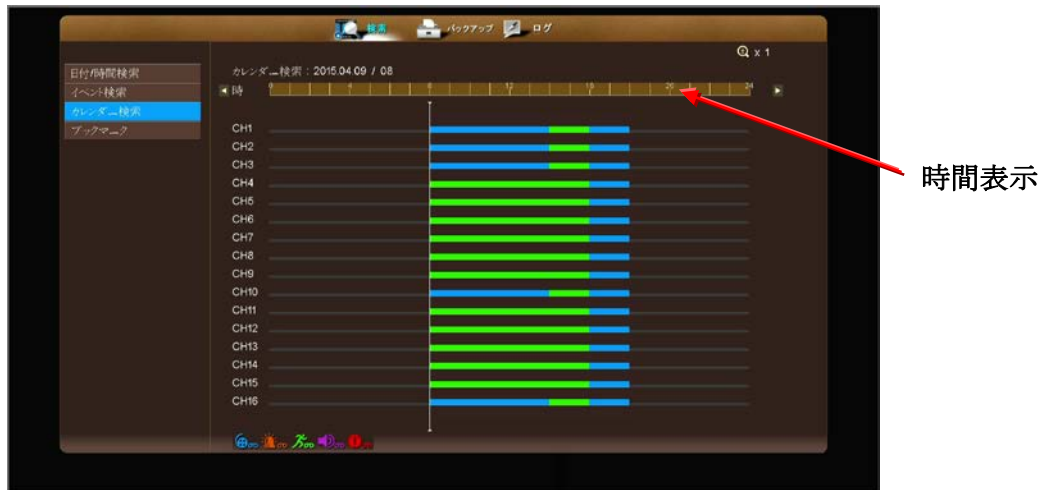
## 1-3. カレンダー検索

カレンダー検索を選択すると、次のようなカレンダーが表示されます。

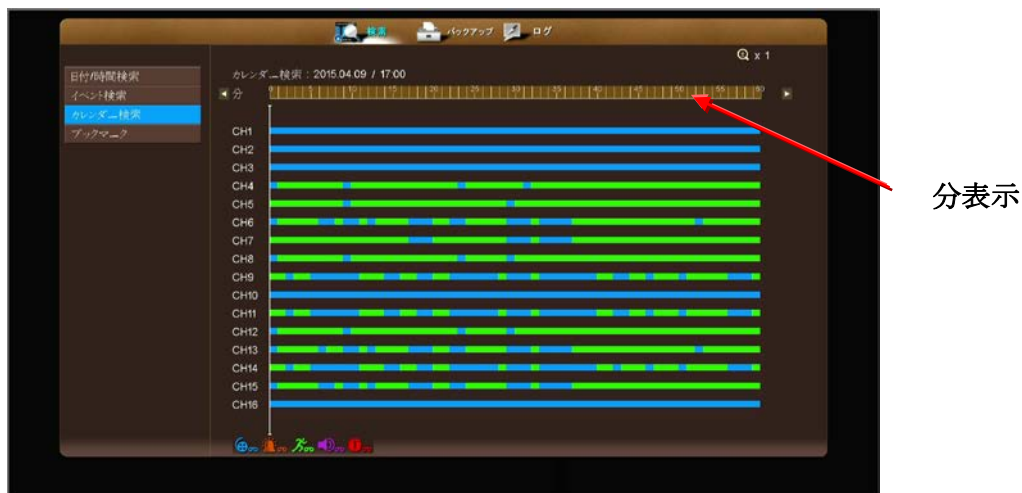


## RDD-044D/RDD-084D/RDD-164D 設置および取扱説明書

検索する年と月を選択することができ、ハードディスクに映像が録画されている日付が白くなります。上/下/左/右ボタンまたはマウスで希望日を選択し「SEL」ボタンを押すと、次のような図が表示されます。



録画映像がある区間では、録画方式に応じて色がついているバーで表示されます。再生を希望する時間を選択すると、次のような図が表示されます。

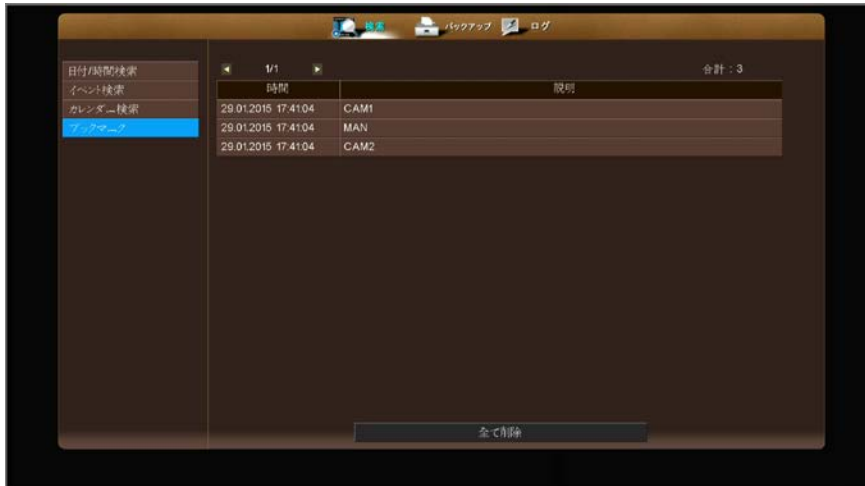


分表示メニューで再生したい時間を選択すると再生されます。

## 1-4. お気に入り検索

登録されたお気に入りを利用して録画されたファイルを検索することができます。

「お気に入り」を選択すると、登録されているお気に入りファイルのリストが表示されます。



ご希望のお気に入りファイルを選択してください。画面下に「修正」「削除」「再生」ボタンが表示されます。ご希望の動作のボタンを押してください。

–「再生」: ファイル再生

–「削除」: お気に入りを削除

–「修正」: お気に入りの名前を変更

**\*\* お気に入り登録方法 :**

録画映像の再生中にご希望の部分でお気に入りアイコンを押してお気に入りを登録します。

## 2. 証拠資料バックアップ

ご希望の映像を検索して、証拠提供目的でバックアップすることができます。内蔵されているDVDまたは前面部のUSBポートで簡単にバックアップできます。

検索メニューの「ARCHIVE(バックアップ)」を選択すると次のような図が表示されます。



### [デバイス]

バックアップするデバイスを選択します。内蔵されている DVD または USB で接続されたメモリスティックを選択することができます。バックアップ機器を接続した後「デバイス」を選択すると、自動で検索します。

### [デバイスフォーマット]

DVD はフォーマットしなくても構いませんが、USB メモリスティックはフォーマットをして使用してください。

### [種類]

**固有形式** : 固有の形式でバックアップしたら証拠データと共にコンピュータで見ることができる映像再生プログラムが USB メモリスティックにバックアップされます。PC で別途のソフトウェアなしでバックアップ映像を見ることができ、固有形式はウォーターマークでセキュリティされており安全です。

**AVI** : AVI ファイルでバックアップが可能です。AVI ファイルは Windows Media Player で見ることができます。

### [ログ]

ログボックスを選択するとバックアップするために選択したチャンネルのログデータも一緒にバックアップされます。

### [環境設定]

環境設定を選択するとDVRのすべての設定値と一緒にバックアップされます。

### [バックアップするファイルを追加]

「追加」ボタンを押すと次のような画面が表示されます。



### 開始時間/終了時間

バックアップする開始時間および終了時間を設定します。

リモコンの数字ボタンを利用して時間を入力するか、マウスの場合は画面に表示されるキーボードを使って時間を入力します。

### チャンネル

バックアップするチャンネルを選択します。

### [データサイズ計算]

種類、時間、チャンネルを入力した後、バックアップするデータのサイズを計算しなければなりません。「データサイズ計算」を押すと自動でサイズが計算され、必要なサイズが表示されます。デバイスの状態に使用可能なサイズ/全体サイズが表示されますが、必要なサイズが使用可能なサイズよりも小さい場合はバックアップが可能です。必要なサイズが大きい場合にはバックアップされません。

### [バックアップ開始]

バックアップ開始を押すと、バックアップが開始されます。バックアップの進行経過はパーセントで表示されます。

---

**注意：** バックアップ進行中は DVR を OFF にしないでください。

---



## 3. ログ

ログファイルには 次のような情報が含まれています。

- 電源 : 電源ON/OFF、停電
- 録画 : ユーザーによる録画開始/停止、録画エラー、HDD空き容量不足による録画停止
- 動作 : 再生開始/停止、HDDフォーマット、メニュー設定
- クライアント : ログイン、ログアウト、ログイン失敗、再生、録画開始/停止、バックアップ、アップグレード
- イベント : アラーム、モーション、音声、映像損失、電子メール送信エラー
- バックアップ : バックアップしたユーザー情報、バックアップの日付/時間、バックアップの容量

全部で2,500個までログファイルが保存され、2,500個以上の録画などのイベントが発生した場合、最も古いログファイルを消去しながら保存します。

全体のログファイルを表示することができ、特定のログファイルのみを選択して表示することもできます。



時間	操作	ユーザー	イベントID
2015-04-09 17:50:29	メニュー設定	ADMIN	
2015-04-09 17:50:15	メニュー設定	ADMIN	
2015-04-09 17:48:53	ログイン	ADMIN	
2015-04-09 17:48:48	ビデオロス	system	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
2015-04-09 17:48:47	録画開始	system	
2015-04-09 17:48:47	電源オン	system	
2015-04-09 17:47:46	電源オフ	ADMIN	
2015-04-09 17:47:46	録画停止	system	
2015-04-09 17:47:39	メニュー設定	ADMIN	
2015-04-09 17:47:38	バージョンアップ	ADMIN	
2015-04-09 17:43:37	ログイン	ADMIN	
2015-04-09 17:43:14	ビデオロス	system	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
2015-04-09 17:43:14	録画開始	system	
2015-04-09 17:43:14	電源オン	system	
2015-04-09 17:42:13	電源オフ	ADMIN	
2015-04-09 17:42:13	録画停止	system	

## ウェブビューア(Web Viewer)

ネットワークでDVRの映像を見ることができるウェブビューのソフトウェアを提供しております。

PCで映像を見るための最低条件は次のとおりです。

### 最低PC仕様

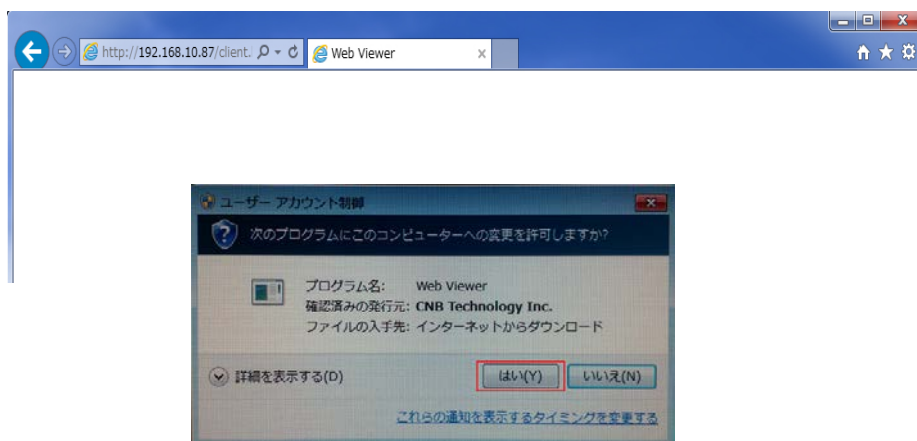
> CPU: Core 2 Duo 3.16GHz,

> グラフィックメモリ : 3GB

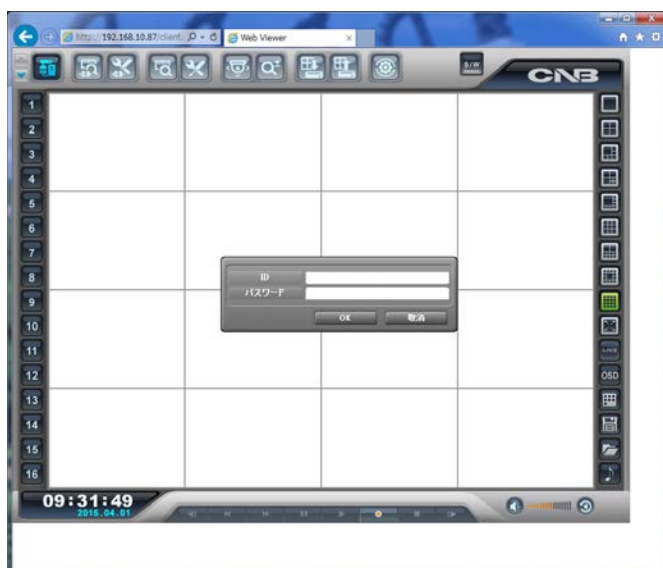
### ウェブビューのソフトウェア設置方法

PCのインターネット(Internet Explorer)アドレスバーにDVRのIPアドレスを入力し、「ENTER」キーを押してください。

DVRに接続するとデジタル認証書が画面に浮かびます。

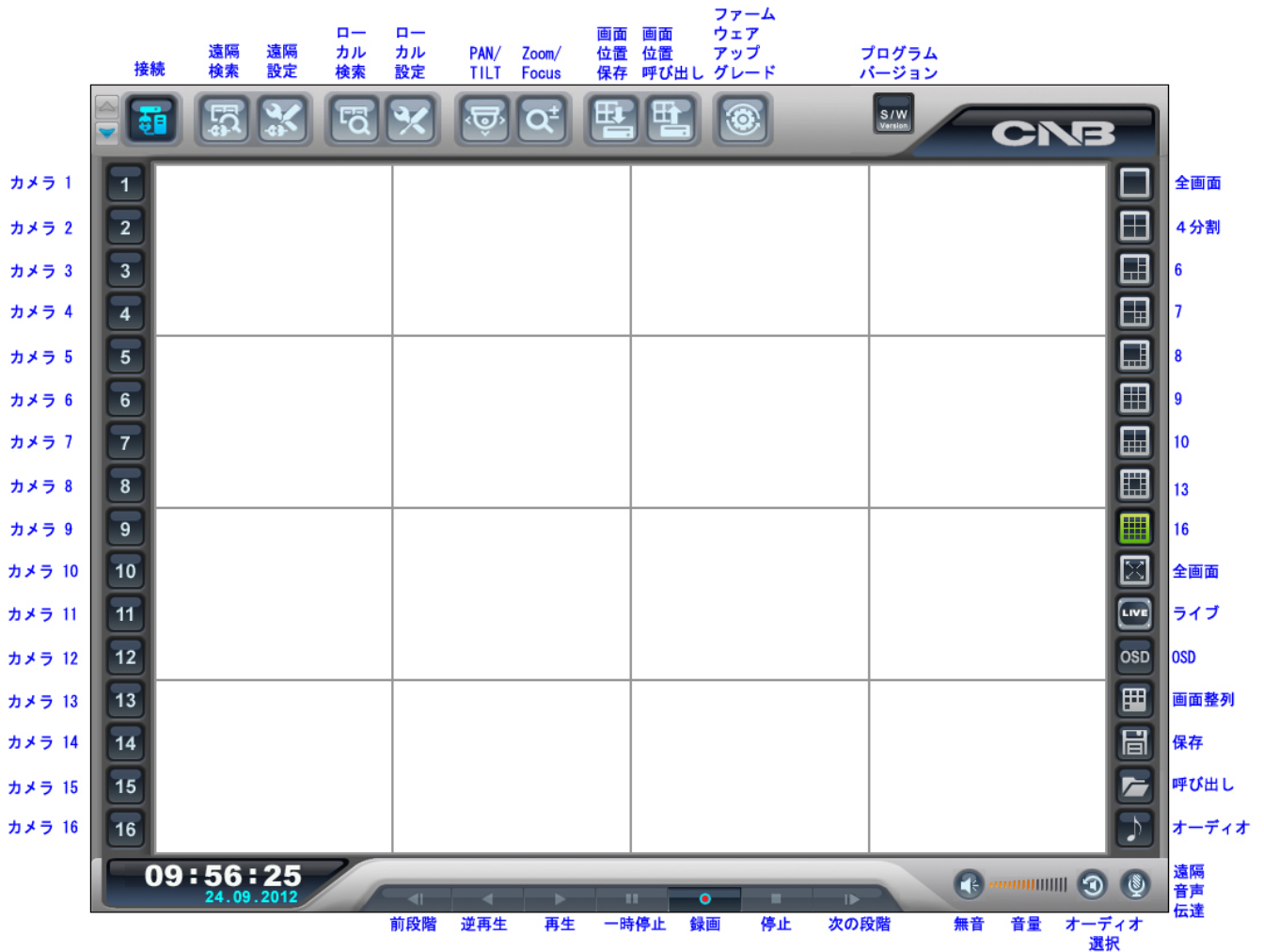


「はい」を押すとDVRからウェブビューのソフトウェアが自動的にPCに設置されます。



入力窓にDVRのID及びパスワードを入力するとDVRに接続できます。

## 画面ボタン説明



## 1. リアルタイム監視



### 分割画面 (1/4/6/7/8/9/10/13/16)

分割画面はライブと再生モードのときに可能で、1,4,6,7,8,9,10,13 および16チャンネルに分割できます。

#### 1) 1チャンネル全画面

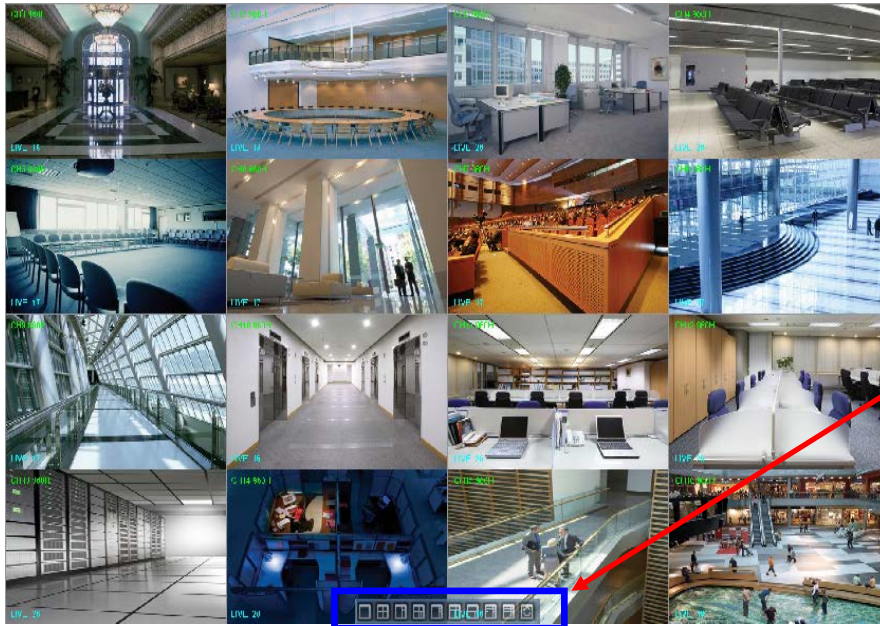


#### 2) 10チャンネル分割画面



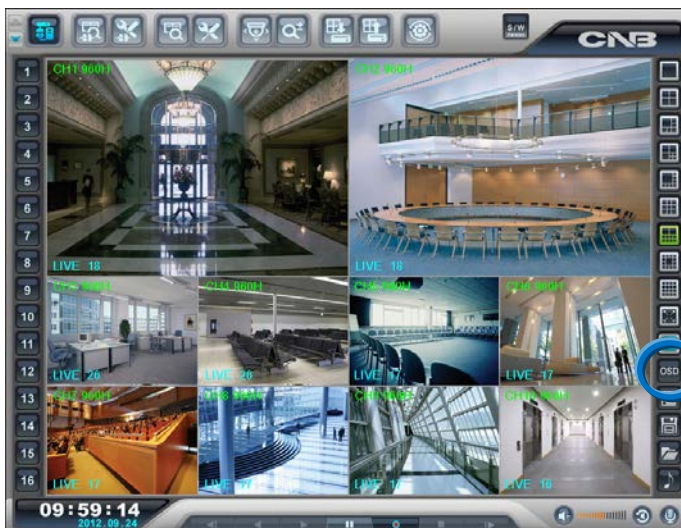


## 全画面モード



全画面が選択されると、左のイメージのように中央下に分割画面を選択できるTool barがあり、元のモードに戻るためには一番右にあるExitボタンを押します。

## OSD の ON/OFF



OSDボタンでカメラ情報などのOSDを表示または非表示することができます。

## 画面整列



カメラがチャンネル順に整列していない場合は「画面整列」ボタンを利用して1番カメラから順に整列させることができます。

イメージ保存



/ 呼び出し



**保存:** このアイコンで静止イメージをJPEG、BMP、またはTIF形式に変更することができ、1回押すと全チャンネルの画像が保存され、メイン画面には変化がありません。

保存基本経路は C:\ HE4000: Savedで、保存日付と時間がファイル名になります。

**呼び出し:** このアイコンは保存された静止イメージを呼び出すときに使用されます。ボタンをクリックして該当イメージを選択すると、関連情報と共にイメージが表示されます。

(ライブ/再生状態、IP address、チャンネル情報)

## 再生

(前段階、逆方向再生、再生、一時停止、録画、停止、次の段階)



## オーディオ (音消去、ボリューム、オーディオ選択、マイク)



オーディオ音量調節 : バーで音量調節します。



オーディオ 選択: オーディオ チャンネルを変更します。



マイク: 遠隔DVRで音声を伝達します。

## 2. 遠隔検索

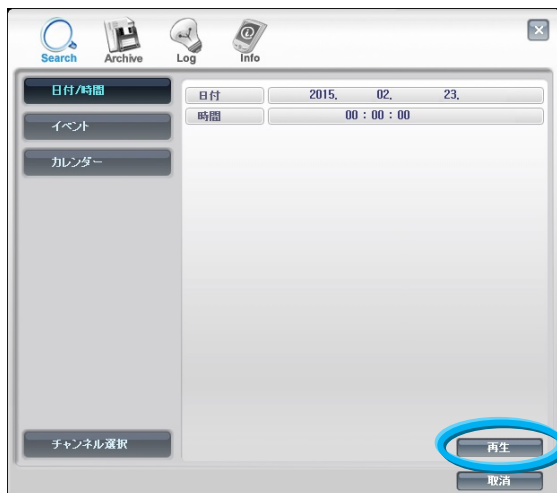


遠隔地検索はDVRシステムに設置されているHDDに保存されている再生データをPCで再生できるようにします。


### 2-1. 検索


3つの検索方法があります。

#### 日付/時間検索

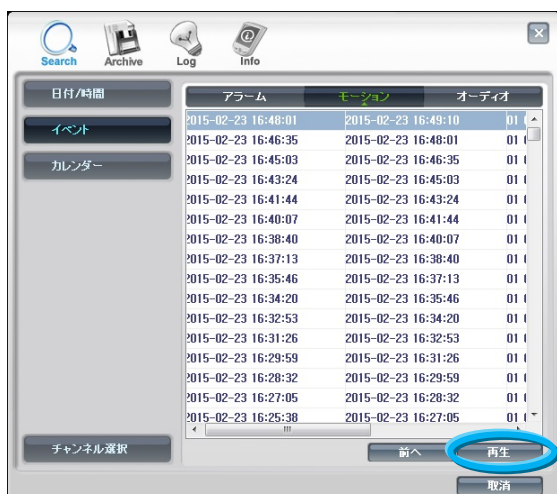


ご希望の日付と時間を設定した後、下の「再生」ボタンを押すと遠隔再生が開始されます。


遠隔再生を停止したい場合には  (停止) ボタンを押した後、


 (ライブ) ボタンを押してリアルタイム監視を開始することができます。

#### イベント検索



再生を希望するイベントをクリックして「再生」ボタンを押してください。

遠隔再生を停止したい場合には  (停止) ボタンを押した後、

 (ライブ) ボタンを押してリアルタイム監視を開始することができます。

## カレンダー検索



青い日付けの中から検索したい日を選択してください。

希望する日付を選択してから、時間を選択する方法は次のように3つのオプションがあります。

- 1) マウスで赤の線をデータのある時間帯のうちご希望の時間に移します。  
(緑のバー:一般録画)
- 2) あるいはデータのある時間帯のうちご希望の時間をクリックします。
- 3) もしくは「時間」欄をクリックすると時/分/秒を選択することができます。

次に「再生」ボタンを押して再生を実行するか「前段階」を押してもう一度日付と時刻を選択することができます。



## チャンネル選択



各項目に応じてチャンネルを選択したり、除外することができます。

「チャンネル選択」は検索メニューの中のすべての詳細メニューで設定できます。



## 2-2. バックアップ

### 遠隔 バックアップ - 日付/時間

「開始」と「終了」時間をクリックして、ご希望の時間を設定してください。

時間設定が完了したら「計算」ボタンをクリックして、その時間のバックアップファイルのサイズを確認することができます。ファイルのサイズがストレージデバイスの容量よりも小さい場合は「保存」ボタンが活性化されます。

「保存」ボタンを押すとPCでバックアップが開始されます。

バックアップしたファイルは、次の経路に保存されます。

C:\¥ HE4000 ¥Download.

### 遠隔バックアップ - イベント

イベントを選択すると、その部分がハイライトで表示されて区分されます。

詳細イベントを選択した後「計算」ボタンをクリックして、ファイルサイズをチェックします。

最後に、計算が完了すると「保存」ボタンが活性化され、このボタンをクリックするとイベントのバックアップが行われます。保存されたデータはPCの次の経路に保存されます。

C:\¥ HE4000 ¥Download

## 遠隔 バックアップ - カレンダー

青で表示されている日付を選択します。



時間を選択する方法は、次の3つの方法があります。

- 1) カラーバーの上の赤い線を希望する時間にドラッグします。
- 2) カラーバーの上の希望時間をクリックすると赤い線が移動します。

- 3) 開始の時間を選択して、時/分/秒を選択します。

そして終了時間を選択します。時間の選択方法は同じです。



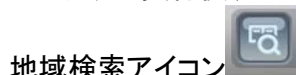
## RDD-044D/RDD-084D/RDD-164D 設置および取扱説明書

「計算」を押してファイルのサイズを計算します。ファイルサイズの計算には時間がかかります。最後に「バックアップ」を押すと、C:\¥HE4000¥Downloadフォルダにバックアップされます。



### ダウンロードしたファイルを再生

プログラム実行後、DVRに接続せず「取消」を選択して通知ボックスを除去します。



地域検索アイコン をクリックした後、既存の遠隔検索方法と同様に行います。

### 2-3. 遠隔ログ



ログファイルは「印刷」ボタンを押すと出力でき、イベントログ「再生」ボタンをクリックすると再生できます。

ログリストは、次のようなイベントを表示します。

- 電源 : 電源ON、電源OFF
- 録画 : 録画開始、録画停止、録画失敗、録画エラー、録画飽和
- 作動 : 再生開始/停止、HDDフォーマット、メニュー設定。
- クライアント : 遠隔ログイン、遠隔ログアウト、遠隔ログ失敗、遠隔再生、遠隔転送、遠隔録画開始、遠隔録画停止、遠隔アップグレード
- イベント : アラーム、モーション、オーディオ、ビデオ損失、電子メールの失敗
- バックアップ : データのバックアップのリストを確認出力することができます。

## 2-4. 情報

### システム情報



システム情報では、MACアドレスとプログラムのバージョン情報を表示します。

### 状態情報



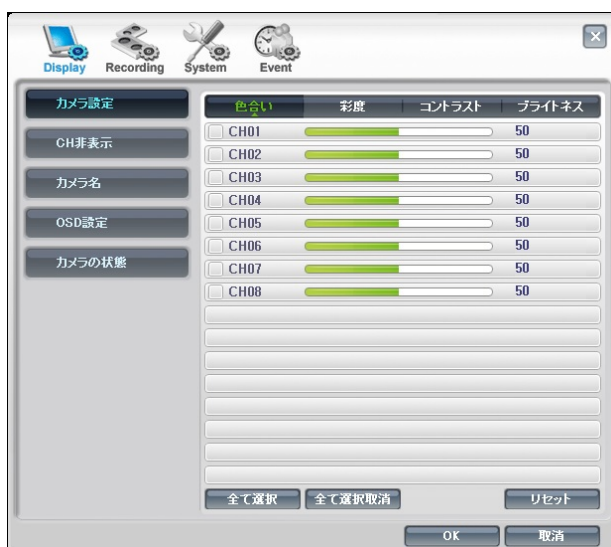
状態情報はHDDの容量と録画モードを表示します。

## 3. 遠隔設定（メニュー設定方法はDVRと同じ）



### 3-1. 映像設定

#### カメラ設定



カメラの色相、彩度、コントラスト、明るさを各カメラごとに調節することができます。

## カメラ非表示



カメラ非表示が遠隔コントロールででき、カメラ非表示を設定しても録画され、ライブ画面と再生のみ関係があります。

## カメラの名前



それぞれのカメラに名前をつけることができ、システムと同じように文字は32文字まで入力できます。

## OSD設定



OSD設定では画面のステータスバーおよび各メニューの表示される時間設定と透明度設定およびHDD表示方法を設定することができます。

## カメラの状態



基本設定では映像録画に関連した共通して適用される内容について設定します。

ウォーターマーク、録画画質、アラームモード、イベント時間などを設定します。  
詳細設定はDVRの録画設定メニューをご参照ください。

## 3-2. 録画設定 基本設定



DVRに接続するカメラを設定します。  
カメラが接続されていても  
「非接続」で設定されている場合、映像が見えません。



## RDD-044D/RDD-084D/RDD-164D 設置および取扱説明書

### 一般



各カメラ別に解像度、録画速度、音声録画などをそれぞれ設定することができます。

### アラーム

アラーム設定の解像度、速度、オーディオ設定は、一般の録画と同じです。

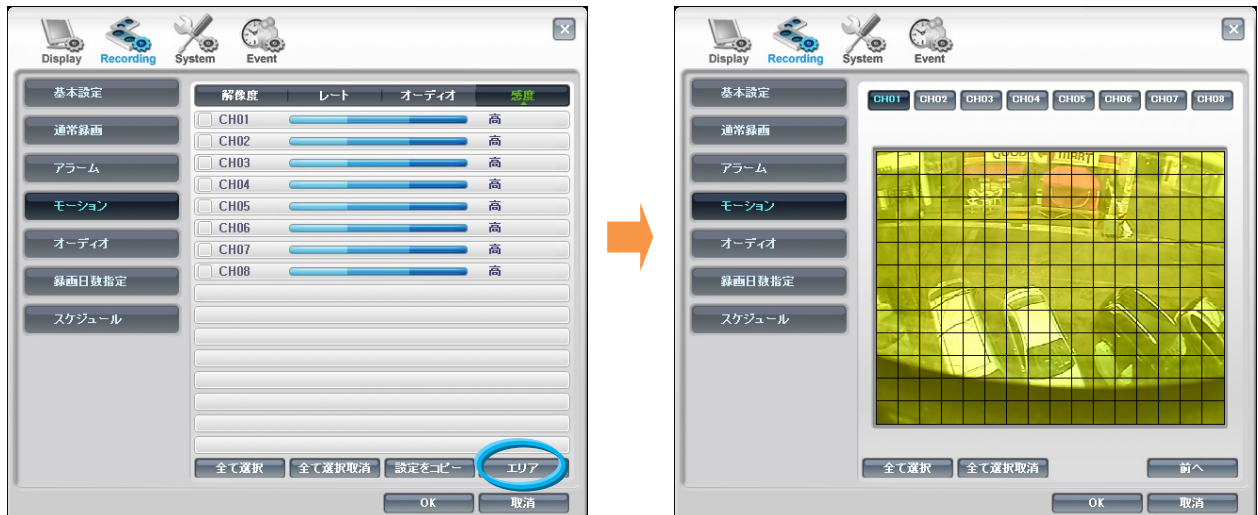


「Preset」設定で、入力センサに対して NO/ NC/使用しないを設定することができます。

各アラームに対して、カメラ4個までPreset設定ができます。

## モーション

アラーム設定の解像度、速度、オーディオ設定は一般録画と同じです。



敏感度設定は、各カメラのモーションを感知する感度を設定します。設定時のカメラ接続後の値を変更し、動作を確認した後、適した感度値を選択してください。

各カメラごとに領域を設定します。黄色に見える部分が設定された部分です。「全体選択」「全体取消」および各領域をクリックして変更することができます。

## オーディオ イベント

オーディオ（音声）が感知されると録画できます。

オーディオイベントの解像度、速度、オーディオ設定は、一般録画と同じです。

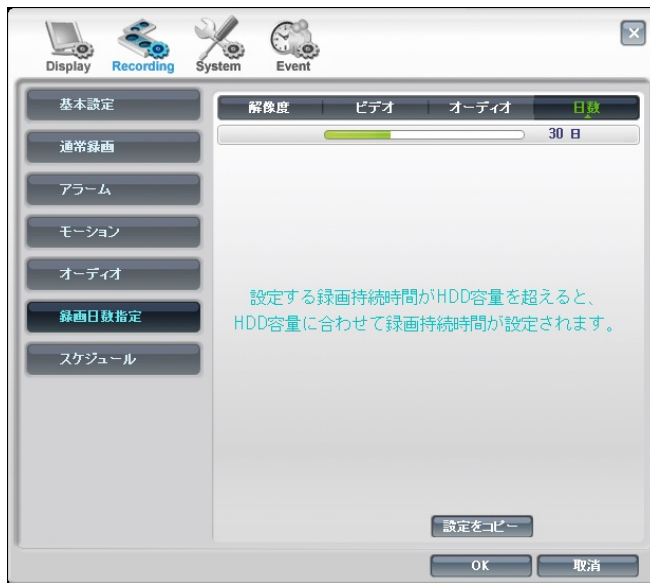
敏感度の部分は、モーションの敏感度設定と同じです。

## 持続時間

持続時間録画はDVRに録画期間を設定すると、あらかじめ設定された録画解像度および録画画質を考慮して、録画フレーム数が自動的に計算され、録画する方式です。

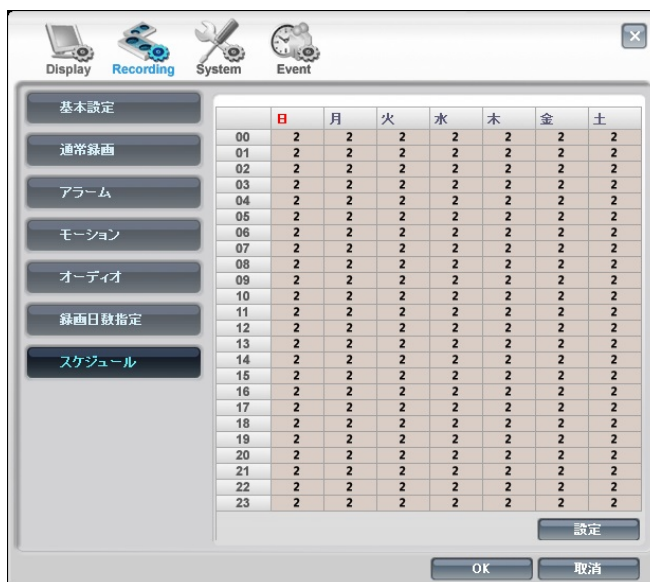
1. 解像度を選択します。
2. 録画するチャンネルを（映像）を選択します。
3. 録画するチャンネルを（音声）を選択します。
4. 録画する日付を選択します。





## スケジュール

スケジュール録画は、日付別時間ごとに録画設定をします。設定値は全チャンネルに適用され、すでに設定された一般/アラーム/モーション/音声/持続録画設定値に従って録画します。



スケジュール録画を選択すると、時刻表が表示されます。各時間について活性(オレンジ色)/非活性(灰色)で表示されます。「設定」を選択して値を変更することができます。

設定を選択すると次のような図が表示されます。

## RDD-044D/RDD-084D/RDD-164D 設置および取扱説明書

	日	月	火	水	木	金	土
00	2	2	2	2	2	2	2
01	2	2	2	2	2	2	2
02	2	2	2	2	2	2	2
03	2	2	2	2	2	2	2
04	2	2	2	2	2	2	2
05	2	2	2	2	2	2	2
06	2	2	2	2	2	2	2
07	2	2	2	2	2	2	2
08	2	2	2	2	2	2	2
09	2	2	2	2	2	2	2
10	2	2	2	2	2	2	2
11	2	2	2	2	2	2	2
12	2	2	2	2	2	2	2
13	2	2	2	2	2	2	2
14	2	2	2	2	2	2	2
15	2	2	2	2	2	2	2
16	2	2	2	2	2	2	2
17	2	2	2	2	2	2	2
18	2	2	2	2	2	2	2
19	2	2	2	2	2	2	2
20	2	2	2	2	2	2	2
21	2	2	2	2	2	2	2
22	2	2	2	2	2	2	2
23	2	2	2	2	2	2	2

全て選択 前へ

Profile 0	N1 (Fixed)	<input checked="" type="radio"/>
Profile 1	AI + N1	<input type="radio"/>
Profile 2	AI + M + N1	<input type="radio"/>
Profile 3	AI + M + N1	<input type="radio"/>
Profile 4	AI + M + N1	<input type="radio"/>
Profile 5	AI + M + N1	<input type="radio"/>
Profile 6	AI + M + N1	<input type="radio"/>
Profile 7	AI + M + N1	<input type="radio"/>
Profile 8	AI + M + N1	<input type="radio"/>

第1	通常録画 1
第2	なし
第3	なし
第4	なし

録画方式(Profile)を選択/修正した後、時間表で変更したい位置でクリックすると簡単に変更することができます。録画方式は録画モードおよび優先順位設定可能です。

### 3-3. システム設定

#### 基本

Display	Recording	System	Event
基本設定			
アカウント			
自動削除モード			
PTZ設定			
PTZエンローラー			
サマータイム設定			
グローバル時刻設定			
S.M.A.R.T.			
その他			

言語	韓国語
日付表示形式	日-月-年
ビデオ形式	NTSC
リモコンID	11
ライブ解像度	2CIF
ライブ画質	最低
帯域幅	<input checked="" type="radio"/> 制限なし <input type="radio"/>

初期化 OK 取消

基本設定では、言語、日付形式、映像の種類、リモコンアドレス、ライブ解像度、ライブ画質、帯域幅を設定することができます。

## アカウント

アカウントは、管理者1、責任者1、ユーザー25人まで設定することができます。それぞれのユーザーに対する秘密番号および権限設定をすることができます。

### [自動ログアウト]

ユーザーが任意の時間の間操作しない場合は、自動的にログアウトされます。  
(OFF、15分、30分、1時間)

### [バックアップログ]

ログバックアップ時に秘密番号を設定します。

## 自動削除モード



自動削除モードは設定した日付以前のデータを自動的に削除する機能です。

自動削除モードを30日に設定するとHDDに保存されたデータの中で30日以前のデータは自動的に削除されます。

## PTZ設定



### 〔 アカウント 〕

各カメラのアカウントは1~255まで設定できます。

### 〔 プロトコル 〕

各カメラに適したプロトコルを選択します。

### 〔 変調速度 〕

カメラに適した通信速度を選択します。  
( 2400bps ~ 19200bps )

## PTZコントローラ



### 〔 アカウント 〕

各カメラのアカウントは1~255まで設定できます。

### 〔 プロトコル 〕

各カメラに適したプロトコルを選択します。

### 〔 変調速度 〕

カメラに適した通信速度を選択します。  
( 2400bps ~ 19200bps )

## 夏時間設定

夏時間を使用する国家でのみ設定します。(現在、韓国では使用していません)



### 〔使用者設定〕

選択したい国名がない場合、開始/終了時間を入力して使用できます。

### 〔国名選択〕

「DST」メニューの横をクリックして表示される国名の中から選択します。

## NTP設定



NTPはDVRの時間と外部タイムサーバーとの同期のために使用します。基本設定は「OFF」になっています。

NTPを「OFF」から他に活性化させたら「種類」「タイムサーバー」の項目が作成されます。

**基本値** - 基本のサーバーは「time.bora.net」です。

**ドメイン** - 使用しようとするサーバーのドメイン名を入力します。

**IP** - 使用しようとするサーバーのIPを入力します。

## [都市選択]



NTPサーバーの設定が終わったらDVRのタイムゾーンを選択しなければなりません。「都市」の項目の下にの「なし」をクリックすると都市のリストが表示されます。現在お住まいの都市を選択すると、設定が完了します。

## Smart (HDD管理ツール)

Smart 機能は、HDD のエラーが発生することのある状況を確認する機能です。読み込み/書き込みのエラー、バッドセクタ、温度などの要素を継続して確認します。



**Smart** : 機能を選択するかどうかを選択します。

**温度** : HDDの温度が設定温度以上になったときにアラームを発生させます。一般的に45°Cの設定をお勧めします。

**メッセージボックス** : Smart機能によるアラーム発生時にメッセージボックスを表示するかどうかについて設定します。

## 3-4. イベント

### 電子メール登録

アラーム発生または映像損失などのイベント発生時にメールを送信することができます。メールは、最大3件まで送信できます。

レポート周期はイベント発生時にメールを送信する時間を設定します。

(即時、毎日、毎週)

「テストメール送信」でメールアドレスが正しいかどうかを確認してください。

### 電子メール通知

イベント発生時に電子メールを送信するイベントの種類を設定します。



## 警告音通知



DVR 内部のブザーを鳴らすイベントを設定します。  
ブザーが鳴る持続時間は5秒～240秒まで設定できます。

## アラーム通知



アラーム通知はイベント発生時にDVR背面のアラーム出力端子を利用します。  
「設定」を選択すると、右側にメニューが表示されます。各イベントおよびチャンネルごとに連動して使用する出力を選択します。



#### 4. 地域検索(ダウンロード映像を見る)



地域検索ではPCにダウンロードした映像を見ることができます。



**地域検索** ボタンを押すとフォルダーの選択窓が現れます。

再生させようとするファイルがあるフォルダーを選択し、「OK」ボタンを押してください。  
次の様なメニューが現れます。

[基本フォルダー(HE4000/Download)を選択する場合]



[基本フォルダー以外のフォルダーを選択した場合]



## 4-1. 検索

日付/時間、イベント、カレンダー方式で検索することができます。

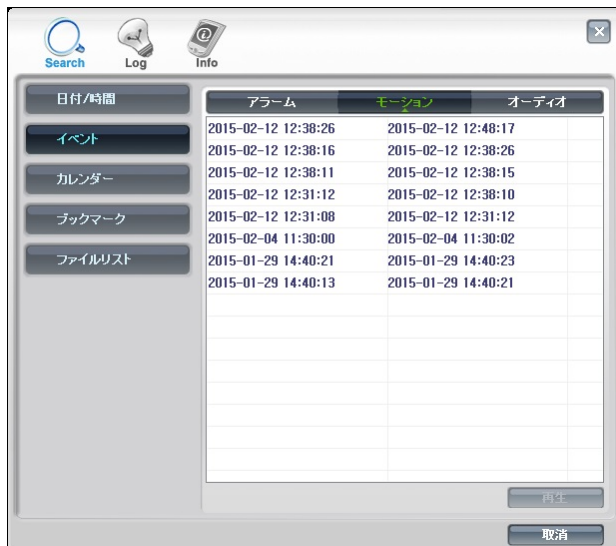
### 日付/時間検索



日付/時刻バーを選択すると、入力できるボックスが表示されます。ご希望の日付/時間を入力してください。

入力を完了したら「再生」を押して再生します。

### イベント検索



アラーム	モーション	オーディオ
2015-02-12 12:38:26	2015-02-12 12:48:17	
2015-02-12 12:38:16	2015-02-12 12:38:26	
2015-02-12 12:38:11	2015-02-12 12:38:15	
2015-02-12 12:31:12	2015-02-12 12:38:10	
2015-02-12 12:31:08	2015-02-12 12:31:12	
2015-02-04 11:30:00	2015-02-04 11:30:02	
2015-01-29 14:40:21	2015-01-29 14:40:23	
2015-01-29 14:40:13	2015-01-29 14:40:21	

アラーム、モーション、ビデオ損失などのイベントで録画映像を検索することができます。

ご希望のイベントを選択すると、イベント情報が表示されます。イベント情報を選択して再生します。

## カレンダー 検索

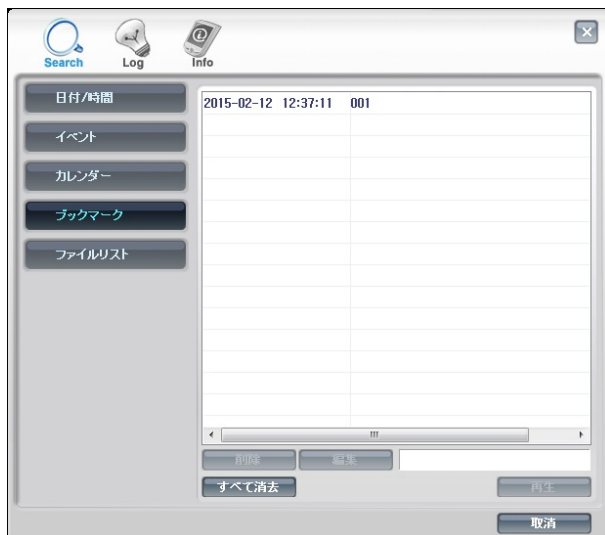


カレンダー検索を選択すると、左側にカレンダーが表示されます。録画データがある日は、青で表示されます。ご希望の日付を選択してください。



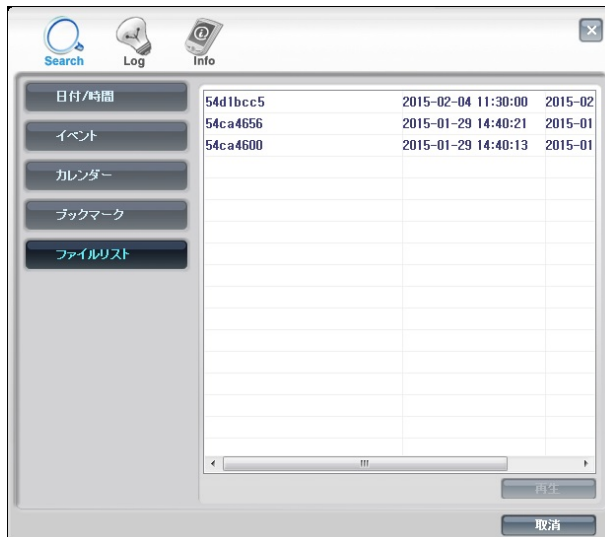
日付を選択するとタイムテーブルが表示されます。録画データがある部分は、録画モードに応じて異なる色で表示されます。再生をご希望の部分をクリックして「再生」を選択してください。

## お気に入り



お気に入りは、録画されたデータの中でお気に入りに設定した資料のリストを表示します。お気に入りを削除、修正ができます。

## ファイルリスト



ファイルリストは、遠隔PCに保存された(ダウンロードした)ファイルのリストを表示します。ファイルを選択し「再生」を選択すると、再生されます。

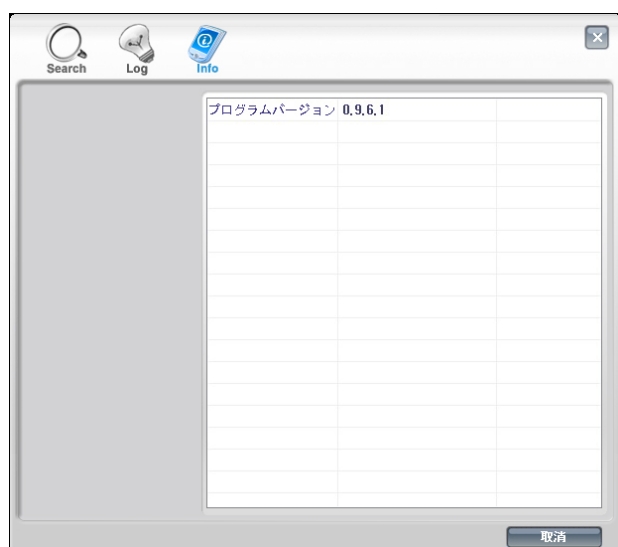
## 4-2. ログ



ログを選択すると、接続されたDVRのログ情報が表示されます。

「印刷」ボタンを押すと、PCに接続されたプリンタに出力されます。

## 4-3. 情報



情報を選択すると、現在使用されているソフトウェアの情報が表示されます。

## 5. ローカル設定

PCクライアントプログラムを設定します。



### 5-1. 基本設定



表現形式: YUV/RGBいずれかを選択します。

日付形式: 日付の形式を設定します。

保存形式: キャプチャしたファイルの保存時のファイル形式を設定します。

ウォーターマーク: 映像デコード時にウォーターマークを使用するかどうかを設定します。

位置: 保存するファイルの経路を設定します。

### 5-2. 不透明度



不透明度は、各メニューの項目ごとに背景映像との透明度を設定します。

数字が小さいほど、メニューの後ろの映像がはつきり見えます。

「255」に設定するとメニューの後ろの映像は見えません。

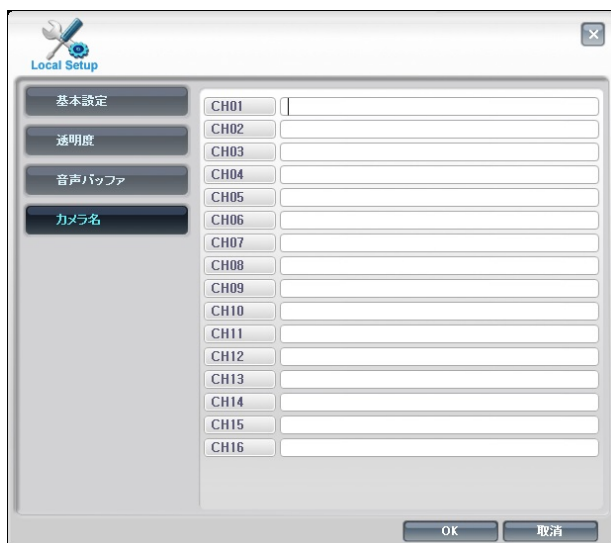
## 5-3. オーディオバッファ



オーディオバッファは、ネットワークの速度によって音声が入切れる問題を防止するためにオーディオバッファ量を設定します。バッファの値を変えながら、音声が切れない最適な値を設定してください。

このメニューは「ライブ」がOFFになっている場合にのみ変更可能です。

## 5-4. カメラの名前



カメラの名前では、各カメラの名前を設定/変更することができます。

英語およびハンゲルで入力可能です。




## 6. Pan、Tilt、Zoom、Focus (遠隔 PTZ コントロール)




PTZボタンを押すとPTZコントロール用のアイコンが表示されます。

### 6-1. Pan / Tilt / Zoom / Focus



Pan/ Tilt (  ) ボタンを押すと、Pan/Tiltのコントロール・ウィンドウが表示されます。上、下、左、右ボタンを押してPTZカメラを移動することができます。



Zoom/ Focus (  ) を押すとZoom/Focusのコントロール・ウィンドウが表示されます。上、下、左、右ボタンを押してコントロールします。

上:ズームイン	下:ズームアウト
左:焦点を近づける	右:焦点を遠ざける



## 6-2. Preset / Learn



Preset / Learn  
アイコン



PTZコントロールアイコンの中央のボタンにカーソルをおくと、上のイメージのようにPresetアイコンがハイライトで表示されます。

Presetボタンをクリックすると、上の正方形のイメージがポップアップされてPreset & Learn & Dome Menuをコントロールできます。

例) Presetの保存時: 「設定」をクリックしてハイライト表示させた後、数字をクリックします。次に「OK」ボタンを押すと該当するアドレスにカメラの位置が保存されます。

例) Presetの呼び出し時: 「呼び出し」ボタンをクリックしてハイライト表示させた後、数字をクリックします。次に「OK」を押すと、その位置にカメラが移動します。

## 7. 画面位置の保存 / 呼び出し

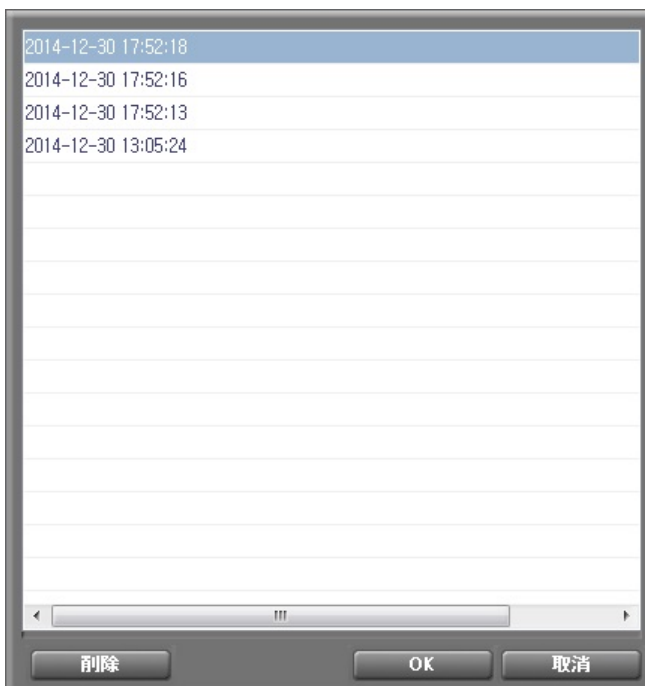


### 7-1. 画面位置の保存



画面の各チャンネルの位置を内部に保存し、ご希望の際に保存された画面の位置を呼び出すことができます。

### 7-2. 画面位置の呼び出し

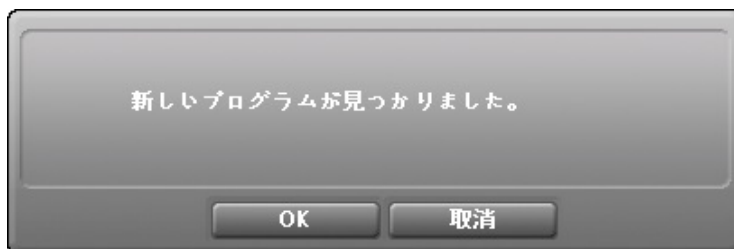


内部に保存された画面の位置情報を修正 & 呼び出しすることができます。呼び出したいファイルを選択し「確認」を選択すると、保存された画面位置を見ることができます。

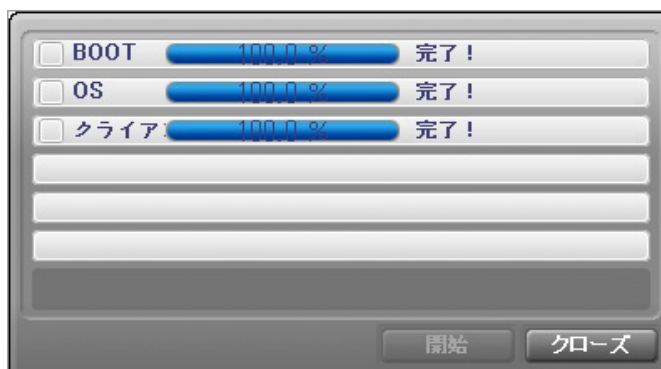
## 8. ファームウェアのアップグレード

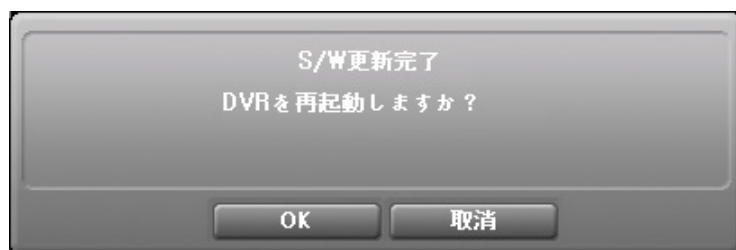


新規ファームウェアにアップグレードするためには “C:/H264CD/Upgrade” フォルダに上位ファームウェアが必要です。新規ファームウェアがあれば「新しいプログラム発見!」、なければ「新しいプログラム未発見!」と表示されます。



アップグレードをするために「開始」ボタンを押すと状態進行バーとパーセント表示が進行状況を示し、アップグレードが完了すると次のようなボックスが表示されます。





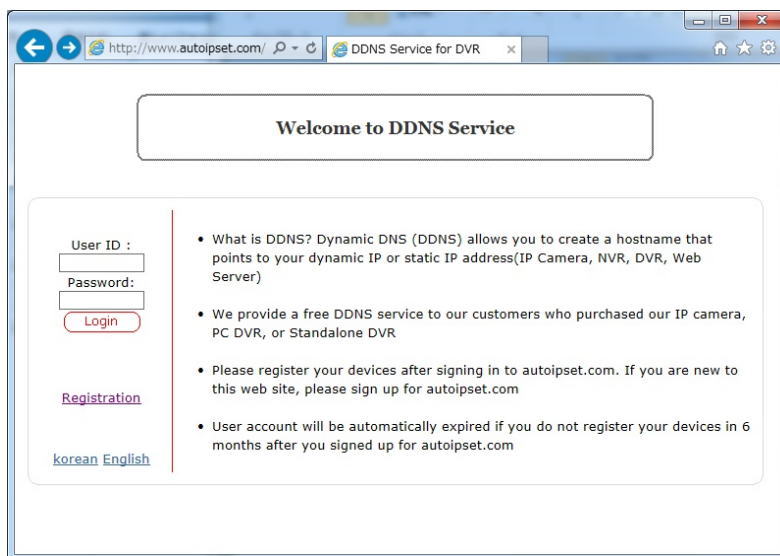
アップグレードが完了したら、新しいファームウェアの適用のためにDVRを再起動してください。

## 添付 1. DDNSサーバー設定

### DDNS (Dynamic Domain Name Service)使用

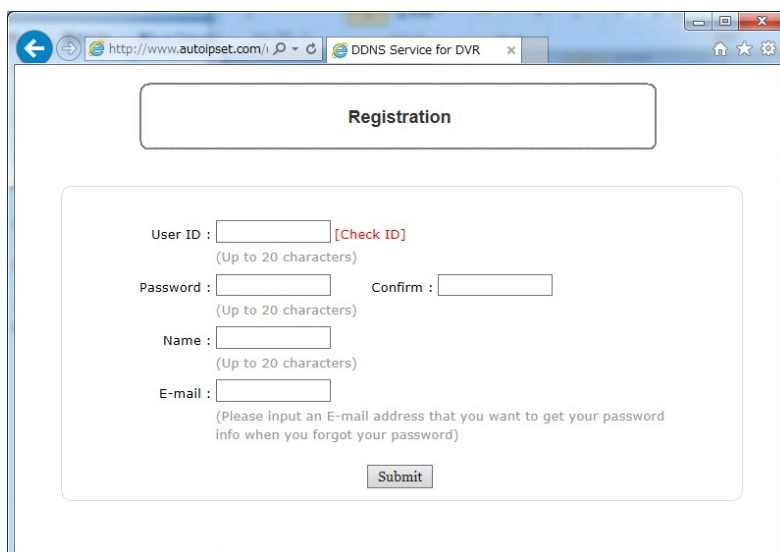
DDNSサーバーを利用して固定IPがなくても遠隔で簡単にアクセスできます。  
(当社ではDDNSサービスを無料で提供しています。アドレス: [www.autoipset.com](http://www.autoipset.com) )

1. DDNS IDとパスワードを作成するために [www.autoipset.com](http://www.autoipset.com) にアクセスします。  
アカウント生成のために「会員登録」を押します。



#### 2. アカウント生成

ユーザーID、秘密番号、氏名および電子メールアドレスを入力してください。  
入力を完了したら「Submit」を押してください。



DDNSアカウント設定が完了したら、DVRのネットワークメニューで「DDNS」メニューを設定しなければなりません。

### DDNS設定 (DVR)



1. 「DDNS」項目を「OFF」で使用したいサーバーに変更します。
2. ユーザーIDおよびパスワードを入力します。  
(DDNSサーバーに登録されたIDおよびパスワード)
3. ドメインを入力します。(DDNSサーバーの登録されたHost名)
4. 「DDNSの状態チェック」をクリックしてきちんと設定されているか確認します。
5. 「適用」を選択して設定値を保存します。

---

**注意：**DDNS設定でドメインは必ず入力しなければなりません。  
ルーター使用時、DVRのIP & ポートをポートフォワーディング設定しなければなりません。

---

## 添付 2. ルーター設定

### IPルーター使用時DVRポート/Webポート設定(ポートフォワーディング)



1. IPルーター使用時「動的IP」は「いいえ」に設定しなければなりません。

- ① DVRポート: 2000 to 65535番の中から設定できます。
- ② Webポート: 2000 to 65535番の中から設定できます。  
DVRポートと同じ番号を使用してはいけません。

2. IPルーターに「virtual server/仮想サーバー」を設定します。

仮想サーバーはDVRに割り当てられたIPを仮想サーバーを通じて伝達する役割があります。

＞ 例 : DVR-1, IP : 192.168.10.107, DVRポート: 7000, Webポート: 7001

DVR-1が上記のように設定されている場合、IPルーターは次のように設定しなければなりません。

- ① PC Server Name : DVR-1(IP 192.168.10.107)  
Protocol : TCP, Internal Port : 7000, External Port : 7000
- ② PC Server Name : DVR-1 (IP 192.168.10.107)  
Protocol : TCP, Internal Port : 7001, External Port : 7001  
\* より詳細な説明は、IPルーターに提供されているマニュアルをご参照ください。
- ③ IPルーターDDNS設定を終了します。固定IPの場合、DDNS設定が必要ありません。 ④  
インターネットエクスプローラ接続時に「<http://dvr-1.autoipset.com:7001>」 入力してください。  
クライアントプログラムの接続時に「<http://dvr-1.autoipset.com:7000>」入力して ください。

## 添付 3. 製品仕様

モデル名		RDD-044D	RDD-084D	RDD-164D
映像	カメラ入力	4 チャンネル	8 チャンネル	16 チャンネル
	出力	1 HDMI, 1 VGA, 2 SPOT 4 BNC(Loop through)	1 HDMI, 1 VGA, 2 SPOT 8 BNC(Loop through)	1 HDMI, 1 VGA, 2 SPOT 16 BNC(Loop through)
音声	入力 / 出力	4 / 1 RCA	8 / 1 RCA	16 / 1 RCA
センサー入力 / アラーム出力		4 / 4	8 / 4	16 / 4
OS		Embedded Linux		
映像画面	HDMI 出力	1920x1080P		
	VGA 出力	1024x768, 1280x720, 1280x1024, 1440x900, 1920x1080		
	Composite (スポット) 出力	720x480 (NTSC) / 720x576 (PAL)		
	分割画面	1 / 4 分割	1 / 4 / 9 分割	1 / 4 / 9 / 16 分割
録画	圧縮方式	H.264		
	解像度(NTSC/PAL)	960H(960x480/960x576), D1(720x480/720x576) 2CIF(720x240/720x288), CIF(360x240/360x288)		
	録画画質	3 段階設定可能(最もよい/よい/普通)		
	録画モード	一般/アラーム/モーション/音声イベント/持続時間/スケジュール録画		
	録画フレーム数	NTSC	120fps@960H/D1 /2CIF/CIF	240fps@960H/D1 /2CIF/CIF
		PAL	100fps@960H/D1 /2CIF/CIF	200fps@960H/D1 /2CIF/CIF
再生	分割画面	1 / 4 分割	1 / 4 / 9 分割	1 / 4 / 9 / 16 分割
	探索モード	日付/時間、カレンダー、イベント(アラーム/モーション)、お気に入り探索		
	速度	正倍速(x1/2/4/8/16/32)、逆倍速(x2/4/8/16/32)		
ネットワーク	通信プロトコル	TCP/IP, SMTP, HTTP, DHCP, PPPOE(ADSL)		
	シリアルポート	RS-232 x1, RS-485 x2 (PTZ およびキーボードコントロール)		
	ウェブブラウザ	インターネットエクスプローラ 5.0 以上		
	イベント転送	イベント発生時電子メール(停止映像添付)通知		
	モニターリングソフトウェア	PC クライアント、CMS、モバイルビューア		
バックアップ	ストレージデバイス	内蔵DVD、USBメモリ、外付けe-SATA HDD		
イベント	モーション感知	カメラ別モーション領域および感度(3 段階)設定		
	アラーム持続時間	5~24 秒		
	イベントログ	2,500 個記録(アラーム/モーション/映像損失/停電発生時)		
PTZ コントロール	コントロール機器	リモコン/マウス		
	コントロール方式	RS485 通信		
その他	HDD	4x HDD (12TB)		
	入力電源	AC 100-240V, 50/60Hz		
	消費電力	70W, 1A		
	重さ(製品/箱)	11Kg / 12Kg		
	寸法(製品/箱)	440(W)x420(D)x90(H)mm / 550(W)x540(D)x220(H)mm		